



このまち思いエネルギー。

広島ガス

広島ガスCSR報告書 2021

Corporate Social Responsibility Report



持続可能な社会を私たちの手で…

このまち思いエネルギーを、
未来へ。

このまち思い SDGs 実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

エネルギーの 普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献します。



環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。



地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献します。



働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れています。



CONTENTS

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
経営理念体系	4

TOPICS

1 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言	5
2 海田発電所 営業運転開始(海田バイオマスパワー(株))	6
3 新規事業の展開	6
4 廿日市工場 2020年度省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」受賞	7
5 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	7
6 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み	8

経営分野

広島ガスグループの 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み	9
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	11
都市ガスの安定供給に向けた取り組み	13
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	14
防災対策	15
広島ガスグループの経営体制	17
中期経営計画	19
連結財務データ	21

環境分野

環境保全活動の基本的な考え方	25
1 お客さま先での環境負荷の低減	27
2 事業活動における環境負荷の低減	29
3 地域環境保全への貢献	32
環境負荷低減フロー(2020年度実績)	33
環境会計	34

社会分野

地域社会との関わり (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	35
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	38
求める人材像 「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」	39
働きやすい職場環境をめざして	40
労働安全衛生の取り組み	41

CSR報告書2021によせて	42
広島ガスの概要	43
広島ガスグループの概要	44

CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行そのものが、大きな「社会的責任」であり、事業活動を通じてSDGsの達成に幅広く貢献したいと考えています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、ガス体エネルギーの普及拡大・高度利用を推進するとともに、2050年カーボンニュートラルを見据えた新たな事業の展開に挑戦していきます。また、社会貢献活動や、コーポレート・ガバナンスの充実など、ESG(環境、社会、ガバナンス)を意識した経営を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

広島ガスCSR報告書2021

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)をはたしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

また、SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しています。

【報告対象】

【範囲】 広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】 2020年4月から2021年3月までの活動(一部、2021年度の実績を含む)。本誌電子版および広島ガスグループ(主要子会社)の環境データをWebで公開しています。
(https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

広島ガスは1909年の創業以来、110年以上にわたり地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してきました。

広島ガスグループがはたすべきCSR（企業の社会的責任）とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことと考えております。

CSRには「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

私たちを取り巻く環境は、ガス・電力市場の小売全面自由化に伴う事業者間競争の進展に加え、2050年までに脱炭素社会の実現をめざす政府方針が示され、日本ガス協会からは「カーボンニュートラルチャレンジ2050」が公表されるなど、新たな転換期を迎えております。

こうした中、広島ガスグループは、2018年10月に策定した「広島ガスグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、現在の「脱炭素化の潮流」を踏まえた取り組みをさらに強化し、諸施策を展開しております。

2020年10月には、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定しました。2030年ビジョン達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを「共通の目標」と捉え、これまで展開してきたCSRに関わる活動などを、SDGsの取り組みと一本化し、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

広島ガスグループはこれまで、環境負荷の低減に向けた取り組みとして、コージェネレーションシステムの普及拡大、さらには、バイオマス混焼発電である海田発電所や小水力発電である志和堀発電所の営業運転を今年度開始するなど、再生可能エネルギーの普及拡大や里山再生事業などを通じて、省エネ・省CO₂への貢献に向けた事業展開を進めてまいりました。今後も、「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えた「累積CO₂の低減」に邁進するとともに、「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざしてまいります。

また、私たち地域のエネルギー供給を担う事業者に課せられた使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力してまいります。インフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード・ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みを進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうしたESG経営を意識した不断の取り組みを強化し続けていくことで、SDGsに掲げられた目標の達成につなげてまいります。

引き続きグループ役職員一丸となって、業務に精励し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

2021年7月



広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み

広島ガスグループは、これまでにESG関連事業（環境および社会貢献の取り組み）を進めてきました。

今後も、LPガス部門とも連携を取りながら、さらなる取り組み領域の拡大をめざし、「脱炭素社会の実現」に貢献する事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成、さらにその先の、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう、取り組んでまいります。

広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み ～脱炭素社会の実現に貢献する事業展開への挑戦～

- 「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えて「累積CO₂の低減」に邁進します。
- 「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざします。

1 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言

2020年10月30日、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定しました。

広島ガスグループは、「広島ガスグループ2030年ビジョン」達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを共通の目標ととらえ、これまでのCSR活動と世界的な潮流であるESG経営・SDGsの取り組みを一本化して推し進めてまいります。これまで展開してきたESGを意識した取り組みを強化し続けるとともに、取り組み領域の拡大をめざし、新たな事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成に貢献し、さらなる企業成長につなげてまいります。



記者会見 (SDGs実行宣言公表)

広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに組み込み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日
広島ガスグループ



「このまち思い SDGs実行宣言」ポスター

広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目

エネルギーの普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ① ガス体エネルギー（天然ガス、LPガス）の普及拡大と高効率利用の推進
- ② ライフラインであるガス導管を通じた安定供給の強化
- ③ 保安レベルの向上、災害対策およびレジリエンス機能の強化
- ④ デジタル技術を活用したお客さまサービスの充実
- ⑤ 新規事業の展開



▲家庭用燃料電池「エネファーム」



▲ガスコージェネレーションシステム



地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ① 地域の文化・芸術、スポーツ振興への貢献
- ② 防災教育・次世代教育・子ども食堂などの取り組みの推進
- ③ 国際平和都市広島への貢献



▲バドミントン部



▲スキー部



▲防災教室



▲このまち思い えがお食堂

環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- ① 再生可能エネルギーの普及拡大
- ② 地域環境保全活動の推進
- ③ 森林保全活動の推進



▲海田バイオマス混焼発電事業



▲小水力発電事業への参入



▲里山再生事業への着手



▲このまち思い 広島ガスの森

働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

【主な取り組み項目】

- ① 働き方改革の推進
- ② 労働安全衛生体制の充実
- ③ 人材育成への取り組み



▲保安技能大会

2 海田発電所 営業運転開始(海田バイオマスパワー(株))

中国電力(株)との共同出資会社である海田バイオマスパワー(株)は、2021年4月1日から海田発電所の営業運転を開始しました。

本発電所は、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、広島県内の林地残材などの未利用木材や、海外の木質系バイオマスなどの燃料を80%程度利用し、年間で約8億kWhの発電を予定しております。

本発電所での発電事業を通じて、広島県の林業振興などの地域活性化に取り組むとともに、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献できるよう努めてまいります。



海田発電所

【海田発電所の概要】

(2021年7月1日現在)

所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号
発電出力	11万2千kW(発電端出力)
発電方式	バイオマス混焼発電 ※混焼比率(熱量ベース) バイオマス80%・石炭20%
ボイラ型式	循環流動層ボイラ
想定年間発電量	約8億kWh
燃料	木質系バイオマス(広島県内未利用木材、ホワイトペレット、パーム椰子殻)、石炭、天然ガス(助燃・バックアップ)



管理事務所・タービン棟・ボイラ



中央制御室



広島県内未利用木材(木質チップ)



燃料輸送用内航船「海米丸」

3 新規事業の展開

■小水力発電事業

再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取り組みの一つとして、2020年10月に志和堀電化農業協同組合から志和堀発電所(東広島市志和町志和堀、最大出力95kW)を取得し、小水力発電事業に参入しました。

設備の修繕や試運転を行った後、2021年6月から再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、営業運転を開始しました。年間で約54万kWhの発電を予定しています。



水車および発電機

■里山再生事業

CO₂削減への貢献、林業振興による中山間地域の活性化を実現するため、里山再生事業に取り組んでいます。

2020年7月に、林野庁と天皇陛下御即位記念分収造林契約を締結し、2020年11月には、広島県神石高原町の星居山(ほしのこやま)に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設しました。また、同月、広島県における計画的な森林の伐採、植林、保育により里山を再生し、環境保全に取り組むことを目的とした協定を、広島県森林組合連合会と締結しました。

今後も、林野庁や森林組合との連携を強化し、里山の再生に取り組んでまいります。



広島県森林組合連合会との協定締結

■広島国際空港(株)への出資

三井不動産(株)を代表企業として、当社を含む16社が参画するコンソーシアムは、2020年11月に特別目的会社である広島国際空港(株)を設立しました。広島国際空港(株)は、2021年2月から空港ビルなどの運営、2021年7月から滑走路などの運営を手掛け、中四国地域の航空拠点をめざしています。

当社は、広島国際空港(株)への出資を通じて、広島空港および周辺地域の活性化を推進してまいります。



広島空港

4 廿日市工場 2020年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞

2021年1月、廿日市工場は、「一般廃棄物処理施設からの未利用熱を活用した省エネの取り組み」に関して、2020年度省エネ大賞(省エネ事例部門)の「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

省エネ大賞は、事業者や事業場などにおいて実施した他者の模範となる優れた省エネの取り組みや、省エネルギー性に優れた製品ならびにビジネスモデルを表彰するもので、(一財)省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け、主催されています。

今回の受賞は、廿日市工場に隣接する一般廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)においてごみ処理発電時に発生する未利用の排熱を、廿日市工場が温水として受け入れ、LNGを気化させるための熱源として利用することで、大幅な省エネ(燃料ガス削減率:前年度比59.6%)・省CO₂(削減率:前年度比33.2%、削減量:6,848t-CO₂)を実

現した点が高く評価されたものです。

今後も、エネルギーの高度利用によって、環境負荷低減につながる事業活動を推進してまいります。



※P29もご参照ください。

5 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

中四国地方初! 自立運転機能付きエネファームtype S 大型分譲住宅地の全戸に標準採用

「自立運転機能付きエネファームtype S」が、大型分譲住宅地「SATONOWA ヴェルコート牛田早稲田」(トータグループ)の全131戸に標準採用されました。この住宅地のコンセプトは、「緑豊かで人の交流を育み、愛着を持って帰りたいくなる現代の『里』」。環境にやさしく経済性にも優れ、災害時にも安心な自立運転機能付きエネファームtype Sは、同じく標準採用された浴室暖房乾燥機や最新ガスコンロとともに、新しい「里」の笑顔を支えます。



ヴェルコート牛田早稲田

環境性 環境にやさしいエネファーム

天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくるエネファームは、従来型給湯器と比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~2.1t抑える、エネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献していきます。

防災性 停電時自立運転機能による安心感

災害時に停電が起きた場合も、エネファームが発電中であれば、照明や通信機器が使える電力を確保*でき、災害時にも、エネファームにより給湯や携帯電話の充電が可能になるなど、生活環境の維持に大きく貢献します。

*自立運転機能付き機器に限る。

経済性 家庭用ガスコージェネレーションシステム契約

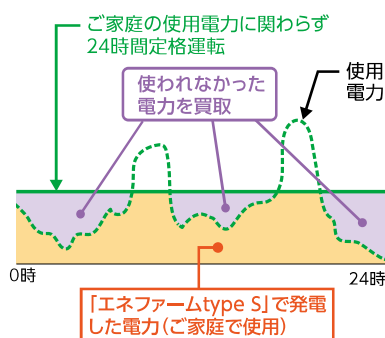
エネファームをご購入のお客さまに「家庭用ガスコージェネレーションシステム契約」の料金メニューを設け、一般料金に比べ安価なランニングコストで都市ガスをご使用いただいています。

発電余剰電力の買取

2019年4月から、「エネファームtype S」の発電余剰電力の買取を開始しました。

使用電力に関わらず、24時間定格運転(700W)を行います。使用電力が少ない時間帯は、発電した電力がご家庭の使用電力を上回ります。発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電力は、広島ガスが買い取ります。

【余剰電力を買取する場合】



【自治体エネファームの補助金】

地方自治体	広島市	呉市	三原市	東広島市	廿日市市
補助金額	3万円/台 × 180台	3万円/台 × 30台	7万円/台(予算枠294万円) ※蓄電池などを含む	8万円/台(予算枠1,560万円) ※蓄電池などを含む	7万円/台(予算枠300万円) ※蓄電池などを含む
募集期間	2021年4月14日~ 2022年1月31日	2021年4月9日~ 2022年2月18日	2021年5月6日~ 2022年2月28日	2021年4月1日~ 2022年2月28日	2021年4月16日~ 2022年1月31日

*詳細は各市のホームページをご参照ください。*補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切りとなります。

6 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大している影響を受け、広島ガスグループはエネルギーの安定供給と保安の確保という使命を確実に遂行するため、事業継続と役職員の安全確保に最大限努めるべく、各種感染予防対策を実施しています。また、影響を受けている地域の皆さまとともに乗り越えていくため、さまざまな取り組みを実施しています。今後も日々変化する状況に鑑みて、適切に対応してまいります。

事業継続と役職員の安全確保の両立

出社前の検温、マスク着用、手指の消毒など基本的な感染症対策を徹底し、在宅勤務や時差勤務を積極的に活用するとともに、Web会議システムなどのIT環境を整備しています。また、原料調達、製造、供給、緊急保安などの業務においては、業務従事者以外の入室制限などの感染予防対策を実施しています。さらに、役職員が罹患した場合に備えて、勤務場所の分散化や勤務体制の組み替えなども行うことで、万一の場合にも事業継続できる体制を整えています。



地域の皆さまへの支援

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた方々への支援をはじめ、“おうち時間”を楽しく豊かに過ごしていただくための情報の発信など、さまざまな取り組みを行っています。

- 「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたガス料金の特別措置」として、ガス料金の支払い期限を延長しました。
- 大きな影響を受けている飲食店などのお客さまを応援するため、広島ガスWeb会員サイト「MY HIROSHIMA GAS」では、「このまち応援企画」として、おうちで楽しめるさまざまな地元企業の商品の抽選プレゼント企画を随時実施しています。
- 新型コロナウイルスからの復興に向けた期待感を高め、地域活性化を願う取り組みとして、「このまち思いエールプロジェクト」を実施し、「あの店で会おうよ」という言葉と、飲食店にまつわるこのまちの皆さまの思いのこもった写真をSNSで共有していただくフォトキャンペーンなどを通じて、将来を含めた飲食店の利用を促す支援を行いました。



- 当社ホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム）で、充実した“おうち時間”に役立てていただくため、ガスコンロの機能を活かした簡単料理レシピや、当社バドミントン部とスキー部によるトレーニング動画などを発信しています。
- Web上で購入を検討したいという新たなお客さまのニーズにお応えすることを目的として、インターネットでのガス機器受付サイト「広島ガスWEBモール」を開設しました。（広島ガスグループの都市ガス、プロパンガスをご利用のお客さま限定のサービスです。）
- 医療機関への支援として、飲食物などを寄贈しました。



広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み ～脱炭素社会の実現に貢献する事業展開への挑戦～

広島ガスグループは、これまでにESG関連事業（環境および社会貢献の取り組み）を進めてきました。

今後も、LPガス部門とも連携を取りながら、さらなる取り組み領域の拡大をめざし、「脱炭素社会の実現」に貢献する事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成、さらにその先の、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう、取り組んでまいります。

世界 2016年11月 パリ協定発効

【目 標】世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2℃未満に抑える（先進国・開発国を含む国・地域が参加）

日本

【長期目標】2050年度において温室効果ガス排出量を実質ゼロ（2020年10月発表）

【中期目標】2030年度において2013年度比で46%の温室効果ガスを削減（2021年5月発表）

当社

- ・「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えて「累積CO₂の低減」に邁進します。
- ・「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざします。

（参考）ガスのカーボンニュートラル化に向けたガス業界のシナリオ

ガスのカーボンニュートラル化に向けたシナリオ

温室効果ガス
排出量

トランジション期における取り組み

① 徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用（お客さま先での取り組み）

石油・石炭からの燃料転換、コージェネレーションや燃料電池等の普及拡大、機器の高効率化等、お客さま先での取り組みにより徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用を進める。

② ガス自体の脱炭素化（供給側取り組み）

脱炭素社会の実現に向け、メタネーションや水素利用等、供給側のイノベーションにより、ガス自体の脱炭素化を進める。

③ CCU/CCSや海外貢献等の取り組み

CCU/CCSに関する技術開発とその活用や、国内で開発した革新的なガス機器やエンジニアリング力の海外展開等による世界のCO₂削減への貢献、カーボンニュートラルLNGの活用等に取り組む。

脱炭素社会

ガスのカーボン
ニュートラル化

現在

2030年

2050年

国の方向性

資料：（一社）日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」

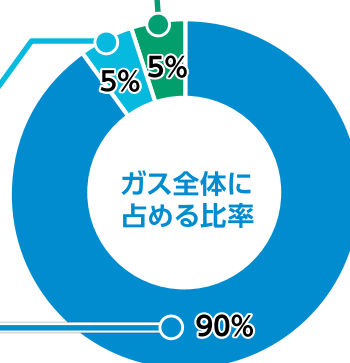
（参考）2050年ガスのカーボンニュートラル化の実現に向けた姿

バイオガス その他脱炭素化の手立て

- CCU / CCS
- カーボンニュートラルLNG(CNL)^{※1}
- 海外貢献、DACCS^{※2}、植林

水素直接利用

カーボンニュートラル メタン(CNメタン^{※3})



- ※1.天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO₂削減分で相殺したLNG（液化天然ガス）
- ※2.Direct Air Carbon Capture with Storage（CO₂の直接回収・貯留技術）
- ※3.脱炭素製造された水素とCO₂を合成したメタン

- グラフの数値はイノベーションが順調に進んだ場合の到達点の一例を示すもの
- 水素やCO₂等は政策等と連動し、経済的・物理的にアクセス可能であるという前提

資料：（一社）日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」

徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用

天然ガス転換の推進

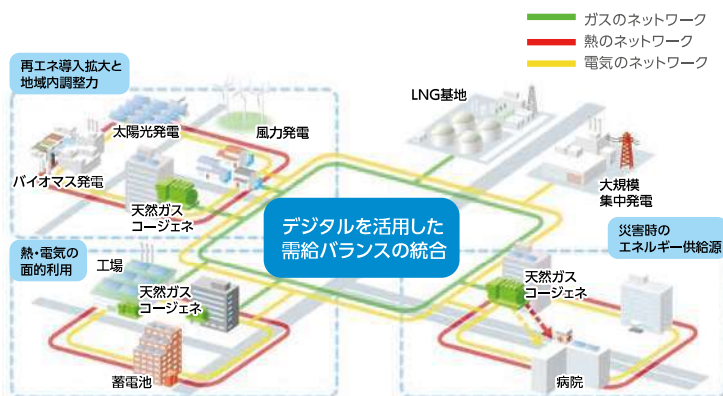


石炭・石油→天然ガス転換によるCO₂削減ポテンシャル



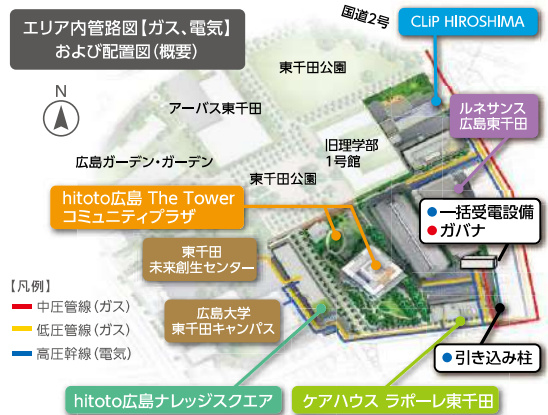
※国内で転換可能な石炭等の化石燃料を全て天然ガスにシフトした場合
 ※総合エネルギー統計2018 詳細表を参考に天然ガス化可能な用途に限定して算定
 資料：(一社)日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」

分散型エネルギーシステムの活用



資料：(一社)日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」

スマートコミュニティ「hitoto広島」



カーボンニュートラルに向けた検討

ガス事業者

カーボンニュートラル委員会

日本ガス協会において、ガス業界のカーボンニュートラルを推進する組織として「カーボンニュートラル委員会」を新設しており、当社も委員として参画しております。
 官民連携してカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進してまいります。

役割

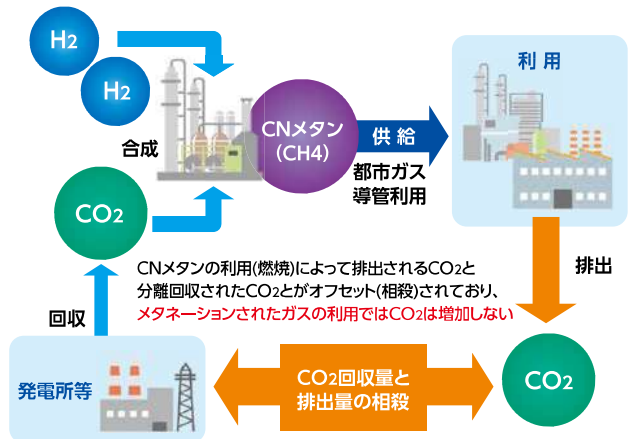
- アクションプランの実行に向けた具体的検討
- アクションプランの進捗状況に対する意見交換やカーボンニュートラル化の取り組みに対する事業者間での情報交換
- アクションプランにおける各種取り組みの対外発信

官民との連携

カーボンニュートラル実現

資料：(一社)日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」を一部加工

メタネーション実装への挑戦



資料：(一社)日本ガス協会「カーボンニュートラルチャレンジ2050 アクションプラン」

脱炭素社会の実現に貢献する事業展開

海田バイオマス混焼発電事業



海田発電所(海田バイオマスパワー)

小水力発電事業



広島ガス志和堀発電所(水車および発電機)

里山再生事業



「このまち思い 広島ガス 神石高原の森」森びらき

都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却（約-160℃）・液化し、LNG（液化天然ガス）として輸送



ロシア・プリゴロドノエ基地

【天然ガス採掘】

【LNG船】



都市ガスの製造

LNGは、LNG貯槽に受入れ、需要量に応じて気化した後、熱量調整などを行い、都市ガスとして送出



廿日市工場

【ピットイン式LNG貯槽】

【LNG気化器】



供給区域と体制

(2021年3月31日現在)

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数
415千戸

広島地区

お客さま戸数

352千戸



本社



可部基地

可部基地



東広島製造所



海田基地

東広島製造所



呉地区

お客さま戸数

46千戸



廿日市工場



呉支店

呉支店



熊野基地

都市ガスの供給

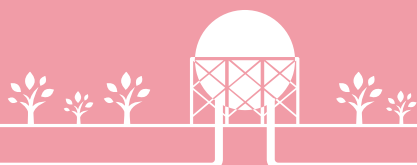
お客さま先で

地中に埋設した5,232kmの導管(本支管・供給管)を通じて、お客さま先まで供給



ガス管橋

【ガスホルダー】



お届けした都市ガスは、さまざまな用途でご使用



工場など

【工業用】



ホテル・ビル・学校など

【商業用】



厨房・給湯など

【家庭用】



LNGローリー車

卸供給 (広島ガス)

連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用した卸供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エルエヌジー(株))



備後工場

広島県

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

福山ガス(株)

備後工場

尾道支店

尾道・三原地区

お客さま戸数

17千戸



尾道支店

凡例

供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地	
幹線 (広島ガス)		検討中幹線	
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	

都市ガスの安定供給に向けた取り組み

都市ガスは、電気・水道と並び、地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNG（液化天然ガス）の調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動きなどを注視しながら、さまざまな施策を講じています。

都市ガスの原料

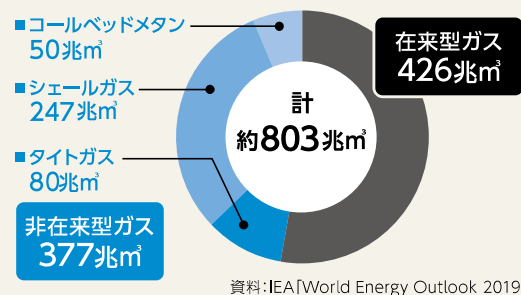
天然ガス技術的可採埋蔵量

天然ガスは、世界に広く存在し、日本はLNG船でさまざまな国から輸入しています。

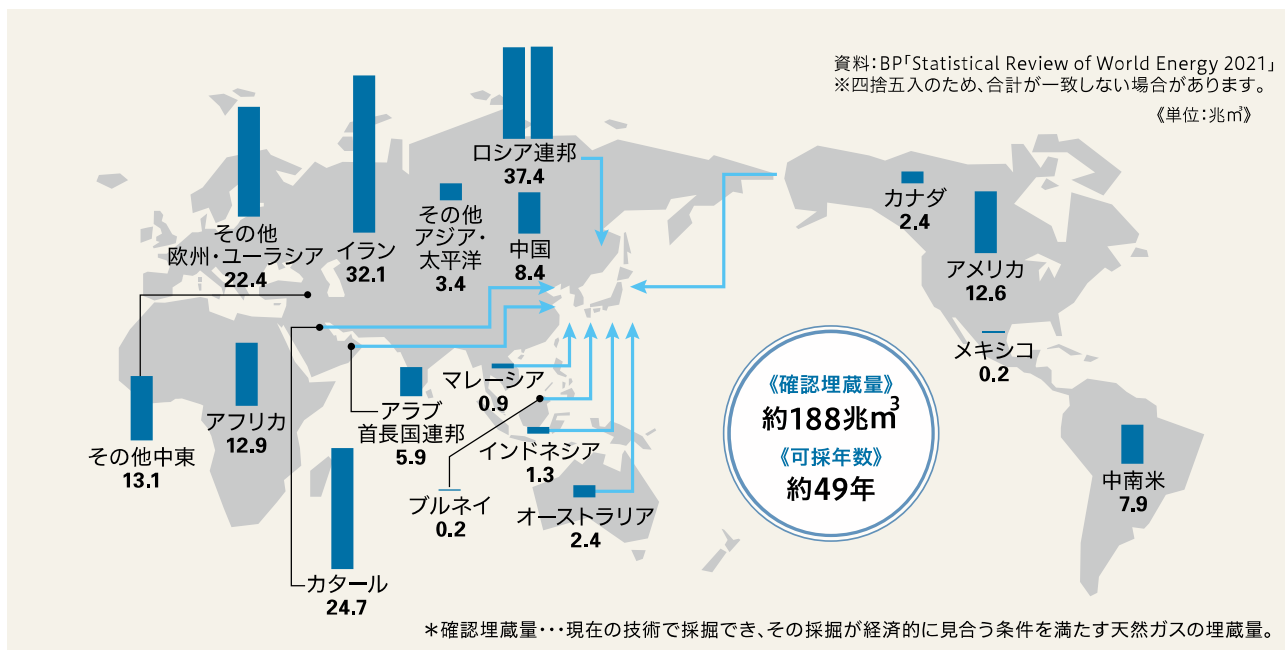
技術の向上によって従来は採掘困難であった、シェールガス、コールベッドメタン、タイトガスといった非在来型天然ガスが産出可能となり、安定した供給が見込まれています。また、2017年からアメリカ合衆国産シェールガスの日本への輸入が始まっています。

さらに、日本の近海には、日本の年間消費量の約100年分に相当するメタンハイドレートが存在しており、政府主導による開発が進められています。

天然ガス技術的可採埋蔵量



天然ガス確認埋蔵量



LNG安定調達に向けた取り組み

LNG調達先の多様化

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、広島ガスにおいても需要の変動に対応するため、LNG調達先の多様化を図っています。2016年以降のLNG調達は、サハリン（ロシア）、大阪ガス（株）、マレーシアからLNG売買契約に基づき、年間約40万t（年度により変動）のLNGの調達が可能となっています。

また、シンガポール事務所を活用したシンガポールおよび周辺諸国でのエネルギー関連市場の情報収集などを通じて、将来のLNGの安定調達などに努めていきます。

【2016年以降のLNG調達】

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス（株）	約5万t～13万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2026年3月
合計	約40万t	※年度により変動

中国電力（株）との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力（株）と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

LNG輸送の効率化と輸送費低減

LNG輸送の効率化と輸送費低減を図るため、東京ガス（株）および東京エルエヌジータンカー（株）とLNG共同輸送契約（2020年度から2027年度までの8年間）を2020年2月に締結しています。

お客さまの安心・安全に向けた取り組み

製造段階での保安

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNG（液化天然ガス）の受入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室



設備点検



サイバー攻撃対応訓練

供給段階での保安

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客さまのもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整えています。



保安指令センター



保安車両



ガス管工事

消費段階での保安

お客さまに安全にガスをご使用いただくために、ガス設備安全点検を行うほか、消費機器を正しく、安全に使用方法を記載したガイドブックを配布するなど、さまざまな保安活動に取り組んでいます。



ガス設備安全点検



ガスライフ安心ガイドブック

防災対策

地震等災害時などに備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。2021年4月には、防災対策の強化などを目的に、防災推進グループを新設し、全社的な対策活動を推進しています。

地震等防災対策3つの柱

いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」、「緊急対策」、「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

設備対策

地震等による被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまで、さまざまな対策を実施しています。

《 LNG貯槽 》



貯槽タンクは地下に構築した外壁の厚さが2m以上のコンクリートピット内に据え付けられ、内部のLNG液面は地表よりも低く、万一の場合でも地上に漏れ出すことはありません。

《 高圧・中圧導管 》



高い圧力のガスを輸送する導管には、耐震性に優れ、大きな地盤変動にも耐える「溶接接合鋼管」を使用しています。

《 ガスホルダー 》



基礎部分は地中深くの支持地盤まで杭が打ち込まれています。その基礎上に支柱と球体を設置し、大規模地震にも耐えられるよう設計・施工しています。

《 低圧導管 》



お客さまのご家庭にガスをお届けする導管には、耐震性、耐腐食性に優れた「ポリエチレン（PE）管」などを使用しています。なお、ポリエチレン管は一部の中圧導管でも使用しています。

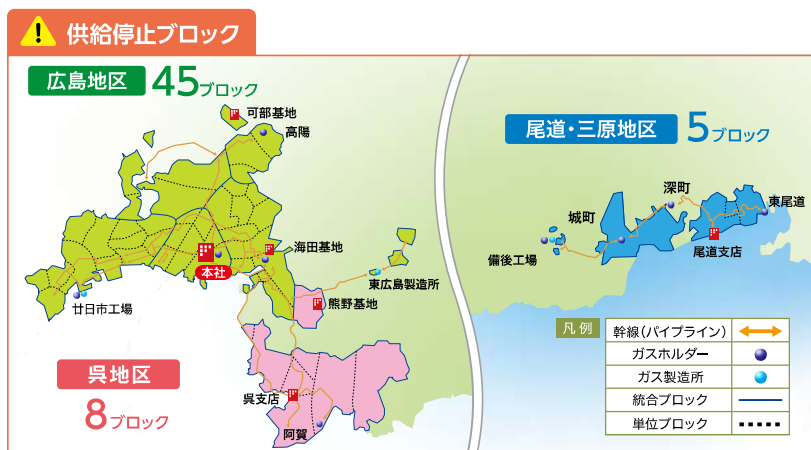
緊急対策

地震等が発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域（ブロック）ごとにガスの供給を停止します。

【ブロック化】

被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

供給停止エリアを極小化するため、2020年度にブロックを26ブロックから58ブロックに細分化しました。



【マイコンメーター】

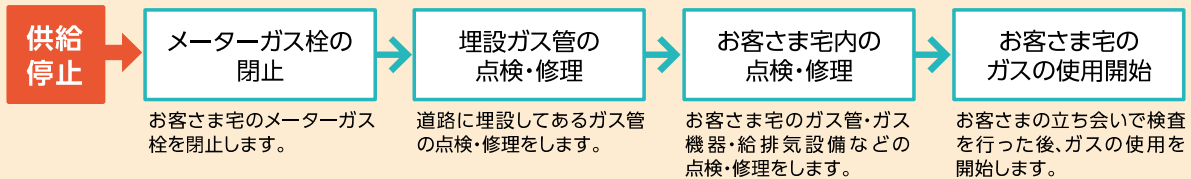


ガスを使用中に震度5程度以上の地震を感知すると、マイコンメーターの安全装置が作動し、お客さま宅のガス供給を自動的に遮断します。広島ガスでは、例外を除き、マイコンメーターを100%設置しています。

復旧対策

やむを得ずガスの供給を停止した場合、1日も早い「ガスの復旧」に向けた作業を以下の手順で行います。

復旧作業の手順



【移動式ガス発生設備による臨時供給】

ガスの供給が再開するまで、移動式ガス発生設備により、病院などの社会的重要度の高い施設や、導管復旧に時間を要するお客さまに対しガスを臨時に供給します。



カードル車



個別供給

都市ガス事業者の応援体制

大規模な災害発生によりガスの供給が停止する場合などには、全国の都市ガス事業者は、(一社)日本ガス協会を通じて、復旧作業にあたる要員や資機材などを相互に協力しあう体制を確立しており、一日も早いガスの供給再開に向けて復旧作業に取り組みます。

広島ガス防災センタービル



日常のみならず大規模災害発生時にも都市ガスの供給保安機能を堅持する防災拠点として、本社構内に広島ガス防災センタービルを建設し、2018年5月から運用を開始しています。本ビルは、災害対策本部をはじめ保安指令センターなどの供給保安機能を集約することにより、災害発生時における復旧対応の迅速化を図っています。

また、震度7クラスの地震にも耐えうる免震構造を採用するとともに、2階以上に事務所機能や空調・電気設備などを配置することで、津波などの浸水災害発生時における事業の継続、供給保安の確保に努めています。



保安指令センター



免震装置(柱頭免震構造)

保安対策の取り組み

工事品質や保安レベルの維持・向上のため、「保安技能大会」などを開催しています。また、毎年、大規模地震を想定した全社による総合防災訓練(初動対応、復旧計画の立案など)を実施しています。こうした取り組みを推進し、さらなる保安レベル・現場力の向上をめざしています。



保安技能大会



総合防災訓練
(広島ガス防災センタービル 災害対策本部会議室)

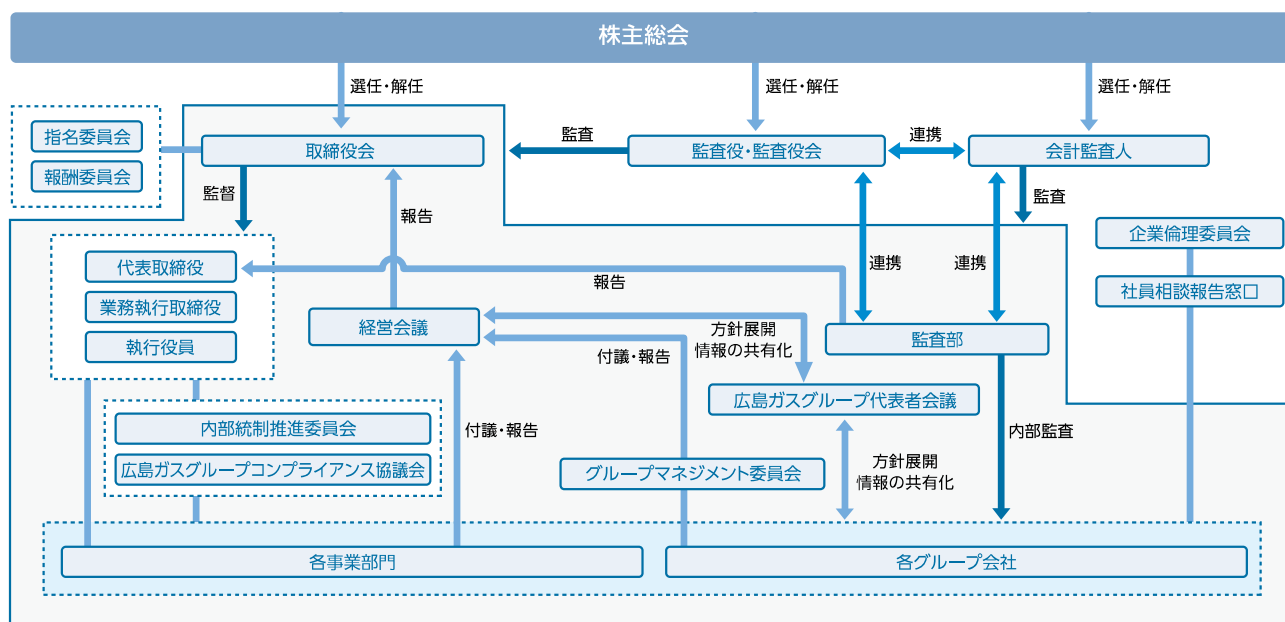
広島ガスグループの経営体制

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制[概略図]



経営組織の構造 (2021年6月24日現在)

取締役会

取締役会は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役の業務執行を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

経営会議

経営会議は、取締役執行役員6名、常勤監査役2名、執行役員8名で構成され、原則として毎月2回、また必要に応じて開催しています。経営会議においては、取締役会から委譲された範囲内で代表取締役の意思決定を行うとともに、当社の経営企画部長が委員長を務めるグループマネジメント委員会から業務の執行状況および経営状況の報告を受け、経営の監督を行っています。

監査役会

監査役会は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画等に基づき実施する調査や取締役会等の重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の業務執行を監査しています。また、必要に応じてグループ会社に対して業務執行状況の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部

監査部は、内部監査規程に基づき、当社およびグループ会社における会計、業務、コンプライアンス、情報システムおよびリスク管理等に係る諸状況を監査し、その結果を社長、経営会議、および監査役に報告しています。

指名委員会・報酬委員会

取締役・監査役候補者の指名および取締役の報酬等については、客観性・透明性を確保するため、その半数以上が社外役員で構成される指名委員会および報酬委員会において審議しています。

内部統制

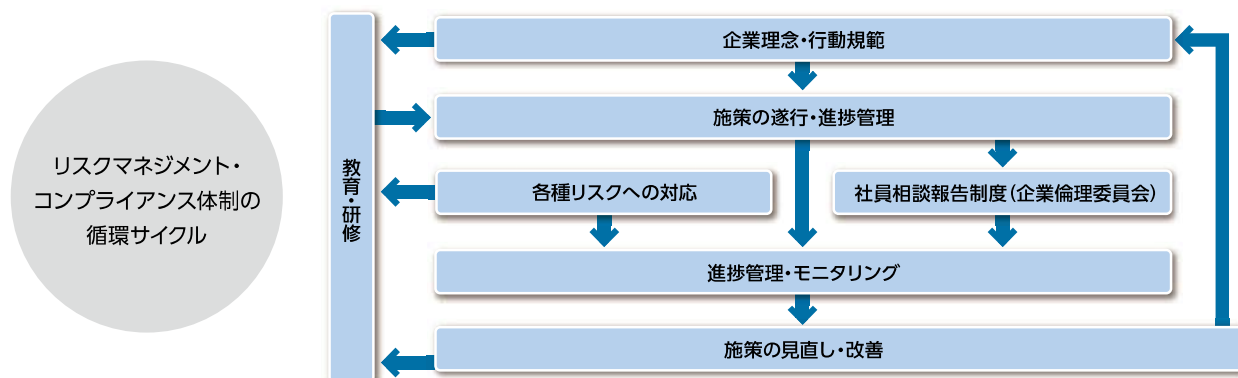
内部統制システムの構築に関する基本方針

広島ガスグループの事業は、都市ガス、LPガス等のベストミックスによる、安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする、極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員などのすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、「内部統制制度の方針」を策定し、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、下図のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、広島ガスグループ役職員が法令や社会的規範を順守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。



▶ 行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範(各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」等)を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

▶ 継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反等を許さない企業風土を醸成しています。さらに、イントラネットを利用した「内部統制掲示板」や「グループ広報誌(GASLAND)」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布等、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

▶ 推進体制

当社およびグループ会社における業務の適正確保を目的として内部統制推進委員会を設置するとともに、各部門において業務上想定される各種リスクを適切に管理し、リスク管理統括部門においてリスクの一元的な管理を行っています。

また、社長および2名の社外弁護士で構成する企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定および制度の運用状況の把握と是正策について協議するとともに、当社グループの従業員が、直接、企業倫理委員会の委員等に相談・報告することができる「広島ガスグループ社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

▶ 各種リスクへの対応

経営に重要な影響を与えるリスクについては、定期的にまたは必要に応じて、リスクの抽出・評価および対応策の策定を行い、経営会議において審議するとともに、取締役会に報告しています。

また、ガス供給の安定性・安全性を阻害するような地震等(台風、洪水、高潮、津波、火災、停電時等を含む)の大規模な自然災害によるリスクに対しては、予め規程化している「地震等防災対策要領」に基づき、災害発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制等を整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

▶ グループ・ガバナンス

当社およびグループ会社の代表者で構成する広島ガスグループ代表者会議を設置し、重要な経営政策等の協議を行い、迅速な方針展開と情報の共有化を図っています。

グループ会社の業務執行については、執行の基準となる規程の整備等を通じてリスクを未然に防止するとともに、主要な連結対象会社の役員を親会社の役員が兼務することにより、各社の取締役会を通じて職務の執行状況を直接把握し監督しています。また、グループ会社の経営に関する重要な事項については、グループマネジメント委員会において事前審議を行い、その結果については経営会議に報告することとしています。

さらに、コンプライアンス活動の実効性を高めるため、広島ガスグループコンプライアンス協議会を設置し、グループ会社におけるコンプライアンス体制の適切な整備・運用の推進を監督しています。

▶ モニタリング体制

グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動(自己統制評価活動)への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

中期経営計画

2018年10月に策定した「広島ガスグループ2030年ビジョン」、2020年10月に策定した「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」の実現に向けて、2021～2023年度 広島ガスグループ中期経営計画では、「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えた「累積CO₂の低減」に邁進するとともに、「脱炭素社会の実現」に貢献する事業展開への挑戦を通じて、地域社会とともに発展する企業グループをめざしていきます。

広島ガスグループ2030年ビジョン

2021～2023年度 広島ガスグループ中期経営計画

基本方針

① 総合エネルギー事業の更なる普及拡大を通じた、省エネ・省CO₂への貢献とエネルギーサービス周辺事業の強化による事業拡大を図る。

- ガス販売量の拡大
- グループ・他事業者との連携・拡大
- マーケティング強化によりお客さまニーズを反映した料金・サービスの検討・実施
- 低廉・安定かつフレキシビリティのある原料調達継続と更なる推進
- 製造・供給ネットワークの整備・増強
- 原料調達等の上流活動の強化
- ガス小売全面自由化への対応
- グループ最適体制の検討
- エネルギー供給周辺サービスの強化・充実に図り、お客さまのロイヤルティの向上と生涯価値の確保を追求
- 中四国ガス事業者での連携強化
- 業務提携先との提携強化・販売体制の検討
- 行政・関係各所とも連携し、総合エネルギー事業の普及拡大を通じて、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上に貢献
- シンガポール事務所を通じた海外事業展開の可能性について調査・推進

② 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じた、環境負荷低減に資する施策を推進する。

- 再生可能エネルギーの普及拡大
- 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ゼロエミッション実現に向けたエネルギーミックス
- 脱化石燃料の流れに対応した事業基盤の構築

③ デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることによって、新たな価値創造と業務効率化を推進する。

- ICTを活用した生産性の向上
- デジタルワークスペースの整備による新しい働き方の実現
- スマートデバイスを活用した業務効率化の推進
- デジタル技術の活用による人材育成と技能伝承の充実強化
- スマートメーターの普及、EMS等の先進技術の導入による魅力ある街づくりへの貢献
- IoT、AI技術の導入によるお客さまサービスの充実

④ グループ組織力の強化につながる創造性豊かな人材の育成と活用により、グループ総合力の向上を図る。

- 多様で柔軟な働き方が実現できる環境の整備
- やりがいや働きがいがある、魅力ある職場作り
- 生産性向上に向けた意識改革の推進
- お客さまの期待を超えるサービスの提供に向けた創造性豊かな人材の育成
- 教育・キャリア形成支援の強化
- 付加価値の高いプロ集団に向けた人材育成
- グループ・部門を越えたコミュニケーション向上支援による一体感の醸成
- グループとして成果を最大化できるグループ機能整理・連携強化
- コンプライアンス(法令遵守、企業倫理)に則った公正で透明性のある事業活動の推進
- 人権啓発活動、コミュニケーション活動の強化
- グループ全体での要員管理と人材交流の推進による機動的な要員配置、リスク管理および連携強化

⑤ 安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図る。

- 保安レベルの向上(経年導管の取り替え促進、広域保安、保安周知 等)
- 災害対策の強化(地域連携、防災投資 等)
- 安定供給の強化(原料調達、インフラ整備)

⑥ 社会貢献活動の推進を通じ、地域社会と共に発展する企業グループをめざす。

- 地域に根差したエネルギー供給を担う企業として、地域の活性化・発展に資する活動の推進
- 環境基本理念および環境行動指針に則った環境保全活動の推進（環境負荷の低減、お客さま先での省エネ・省CO₂実現への貢献、地域・社会と連携した環境啓発活動 等）
- 新たな活動の枠組みによる活動推進
- 社会貢献活動の検証

⑦ グループ経営基盤の強化を図り、強靱な企業グループの構築と持続的な発展をめざす。

- 収益力、資本効率の向上に資する事業ポートフォリオの見直しや経営資源の適切な配分
- グループ機能再構築の推進
- 収益向上につながる組織機能の強化と経営効率化の推進

⑧ 地域社会からの信頼につながる経営を推進する。

- 社内外への適時・適切な情報開示（IR活動の展開・強化等）
- 事業活動および財務報告の適法・適正性確保に向けた内部統制への継続的な取り組み
- グループ経営管理、コーポレート・ガバナンスへの継続的な取り組み

ガス需給計画

	実績	計画			
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	3年間平均伸び率
都市ガス（卸供給含む）〔百万m ³ 〕	569	551	536	499	△4.5%
LPG〔千t〕	83	90	91	94	4.1%

※都市ガス（45MJ）

設備投資計画

	実績	計画			
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	3年間合計
広島ガスグループ設備投資額〔億円〕	71	131	78	61	272

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

都市ガス事業

ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替等を計画的・効率的に行います。

LPG事業

コミュニティガス団地における経年劣化した導管をPE管等の耐震性の高い導管への取替促進を実施していきます。

エネルギーセキュリティ向上への取り組み

安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図っていきます。

① 地域社会の皆さまが日頃から安心して生活いただける環境整備

安定したエネルギー供給（原料調達・インフラ形成など）や防災対策および保安の高度化など、お客さまから「安心してご利用いただけるエネルギーやサービス」の提供を図ります。

② 提供するエネルギーサービスに対する安心

お客さまが、広島ガスグループが提供するエネルギーやサービスに対して、不安を感じることなく安心してご利用いただくために、総合エネルギー事業の拡大をめざす中で、あらゆる「安心の備え」を図ります。

エネルギー市場自由化対応

ガス小売全面自由化に対する取り組みとして、お客さまの新たなニーズに対応し、選択し続けていただけるよう、料金・サービス等の営業施策を検討・実施していきます。

お客さま向けサービスとして、「Web会員サイト」「ポイントサービス」「くらしサービス」を2017年から開始しております。これらのサービスを通じて、これからも選択され続けるようお客さまのご期待に応え、信頼関係を強固なものにしていくことをめざしていきます。

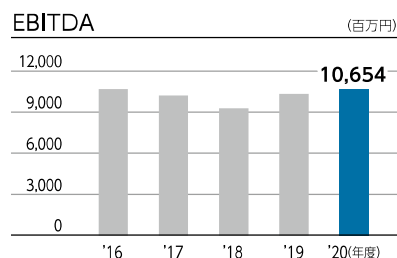
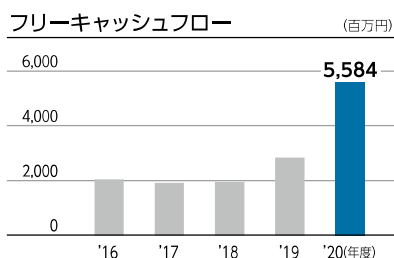
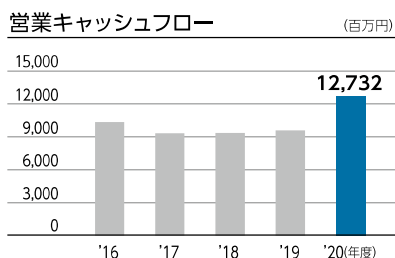
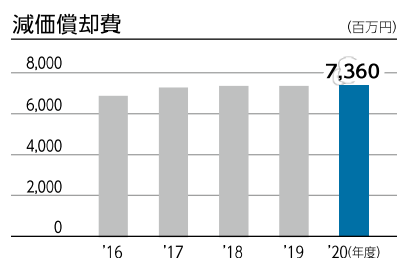
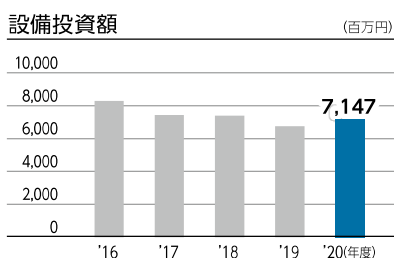
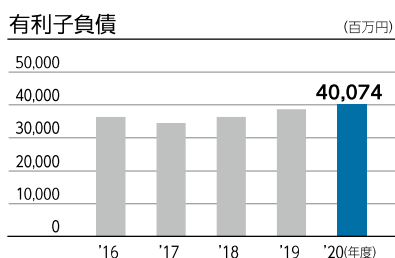
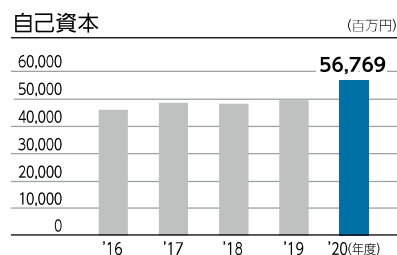
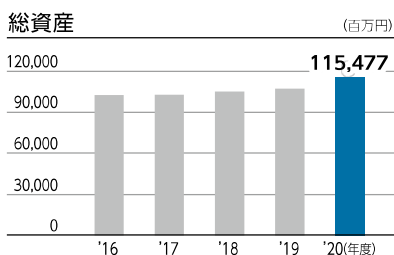
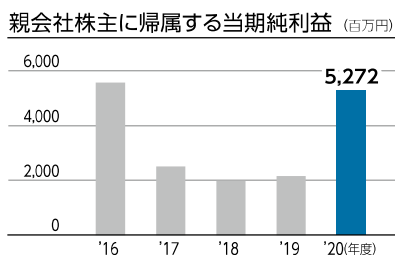
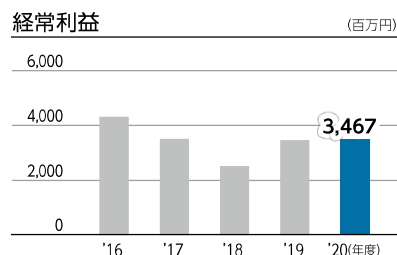
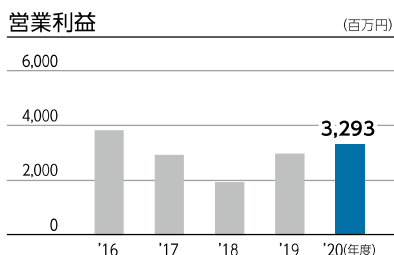
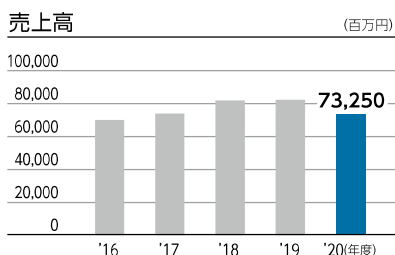
新たなサービスの展開といたしましては、2017年度より3年連続期間限定で実施しておりました「ガスファンヒーターはじめて割」を、2020年度からはいつでも申し込みいただける新料金メニューとしております。また、家庭用暖房契約については、近年大きな注目を集めている「ガス衣類乾燥機」を適用対象機器として追加しております。

今後も、更なるサービス向上をめざし、新たなサービスメニューの充実について、引き続き検討し、地域の活性化に貢献していきます。

さらに、既存事業との相乗効果を図るべく、再生可能エネルギーなど、環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じ、総合エネルギー企業としての発展をめざしていきます。

連結財務データ

① 主要数値



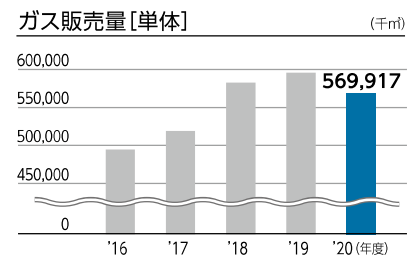
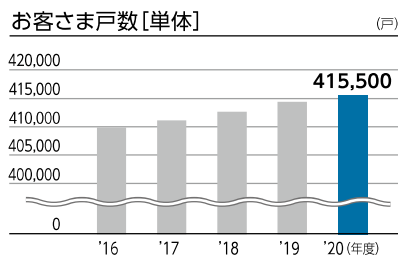
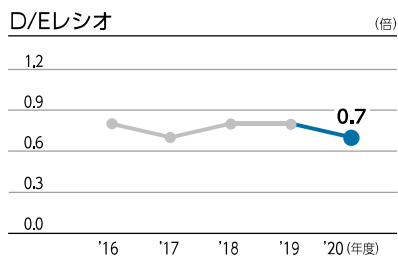
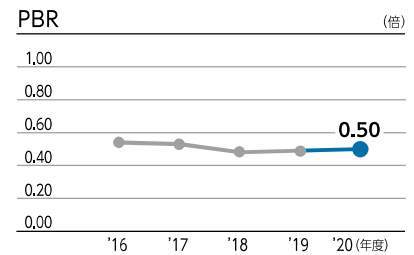
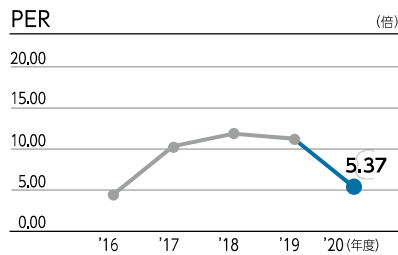
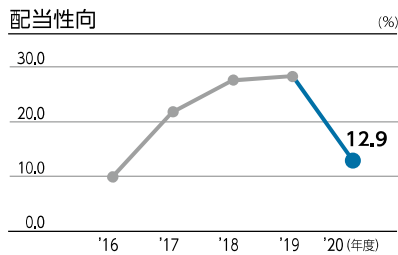
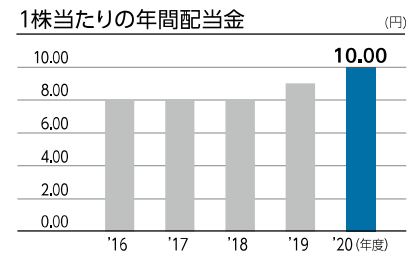
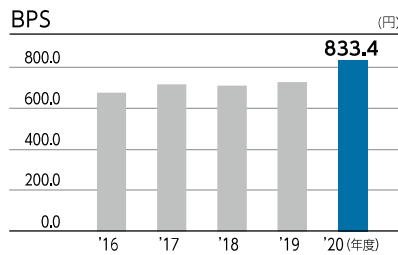
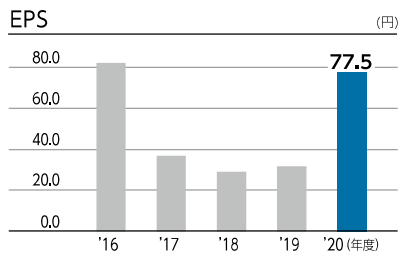
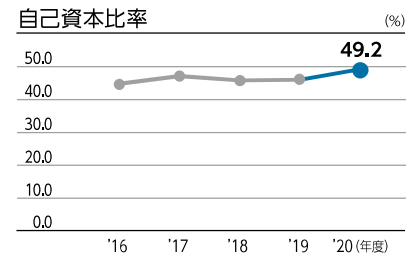
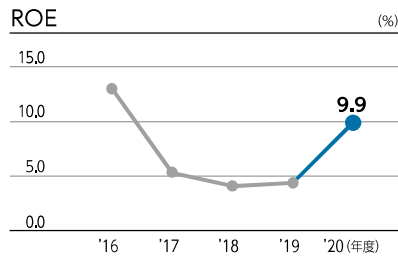
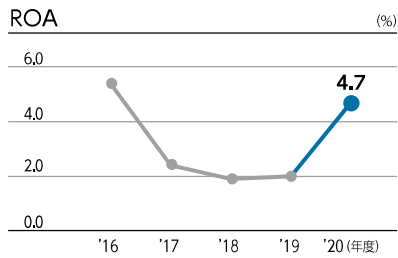
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250
営業利益	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293
経常利益	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467
親会社株主に帰属する当期純利益	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272
総資産	102,363	102,656	104,935	107,139	115,477
自己資本	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769
有利子負債	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074
設備投資額	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147
減価償却費	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360
営業キャッシュフロー	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732
フリーキャッシュフロー	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584
EBITDA	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654

*営業キャッシュフロー = 親会社株主に帰属する当期純利益 + 減価償却費 (注) 2016年度、2017年度、2019年度、2020年度はキャッシュを伴わない特別損益を加減

*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 設備投資額 *EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

*「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2018年度の期首から適用しており、2017年度の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっている。

② 主要指標



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ROA (%)	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7
ROE (%)	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9
自己資本比率 (%)	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2
EPS (円)	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5
BPS (円)	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4
1株当たりの年間配当金 (円)	8.00	8.00	8.00	9.00	10.00
配当性向 (%)	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9
PER (倍)	4.44	10.35	11.86	11.26	5.37
PBR (倍)	0.54	0.53	0.49	0.49	0.50
D/Eレシオ (倍)	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7
お客さま戸数[単体] (戸)	409,881	411,080	412,574	414,396	415,500
ガス販売量[単体] (千m³)	494,646	519,137	583,010	596,226	569,917

*ROA(総資産利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均総資産 × 100

*ROE(自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均自己資本 × 100

*自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産 × 100

*EPS(1株あたり当期純利益) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均株式数

*BPS(1株あたり純資産) = 純資産 ÷ 期末発行済株式数

*PER(株価収益率) = 期末株価 ÷ EPS

*PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ BPS

*D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

連結財務データ

③連結貸借対照表

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
[資産の部]		
固定資産	77,413	81,876
有形固定資産	62,404	62,063
製造設備	15,238	14,729
供給設備	31,408	32,392
業務設備	3,925	4,152
その他の設備	7,918	7,502
建設仮勘定	3,913	3,287
無形固定資産	773	468
投資その他の資産	14,235	19,343
投資有価証券	7,424	13,881
長期貸付金	3	1
繰延税金資産	1,952	808
その他投資	4,920	4,716
貸倒引当金	△ 64	△ 65
流動資産	29,726	33,601
現金及び預金	14,158	15,568
受取手形及び売掛金	6,906	5,529
有価証券	—	10
商品及び製品	782	877
原材料及び貯蔵品	5,463	3,837
その他流動資産	2,439	7,795
貸倒引当金	△ 24	△ 17
資産合計	107,139	115,477

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
[負債の部]		
固定負債	33,108	36,787
社債	18,000	21,000
長期借入金	11,291	12,884
役員退職慰労引当金	307	333
ガスホルダー修繕引当金	345	401
保安対策引当金	640	561
器具保証引当金	290	288
退職給付に係る負債	1,848	866
資産除去債務	117	119
その他固定負債	265	332
流動負債	21,894	18,884
1年以内に期限到来の固定負債	6,152	5,947
支払手形及び買掛金	5,511	5,357
未払法人税等	674	1,966
資産除去債務	—	37
コマーシャル・ペーパー	3,000	—
その他流動負債	6,555	5,574
負債合計	55,003	55,671
[純資産の部]		
株主資本	49,394	54,139
資本金	5,181	5,203
資本剰余金	1,149	1,171
利益剰余金	43,104	47,765
自己株式	△ 41	△ 0
その他の包括利益累計額	△ 119	2,629
その他有価証券評価差額金	1,392	1,931
繰延ヘッジ損益	△ 704	1,079
為替換算調整勘定	—	△ 95
退職給付に係る調整累計額	△ 807	△ 286
非支配株主持分	2,862	3,035
純資産合計	52,136	59,805
負債純資産合計	107,139	115,477

④連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	当連結会計年度 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)
売上高	82,268	73,250
売上原価	54,257	44,997
売上総利益	28,010	28,252
供給販売費及び一般管理費	25,039	24,959
供給販売費	19,718	19,626
一般管理費	5,321	5,332
営業利益	2,971	3,293
営業外収益	709	523
受取利息	2	1
受取配当金	161	175
持分法による投資利益	68	—
CNG販売収益	142	103
雑収入	333	242
営業外費用	225	348
支払利息	171	177
持分法による投資損失	—	78
社債発行費償却	—	45
雑支出	53	48
経常利益	3,454	3,467
特別利益	—	4,400
受取補償金	—	4,400
特別損失	66	98
減損損失	—	98
投資有価証券評価損	66	—
税金等調整前当期純利益	3,388	7,769
法人税、住民税及び事業税	929	2,256
法人税等調整額	120	51
当期純利益	2,338	5,461
非支配株主に帰属する当期純利益	185	188
親会社株主に帰属する当期純利益	2,153	5,272

⑤連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	当連結会計年度 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)
当期純利益	2,338	5,461
その他の包括利益	△ 382	2,749
その他有価証券評価差額金	△ 306	538
繰延ヘッジ損益	80	1,773
退職給付に係る調整額	△ 156	521
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△ 84
包括利益	1,955	8,210
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,770	8,022
非支配株主に係る包括利益	185	188

⑥連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	当連結会計年度 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,388	7,769
減価償却費	7,344	7,360
その他	△ 2,146	△ 1,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,586	13,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 6,589	△ 7,157
その他	△ 132	△ 6,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,722	△ 13,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,786	715
現金及び現金同等物の期首残高	8,449	12,091
現金及び現金同等物の期末残高	12,091	13,439

環境分野

低炭素・脱炭素社会の実現をめざし、天然ガスの普及拡大と高度利用を基軸として環境保全を推進していきます。

環境保全活動の基本的な考え方

1993年度に環境基本理念および環境行動指針を制定しました。さらに、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。

広島ガスグループ環境基本理念

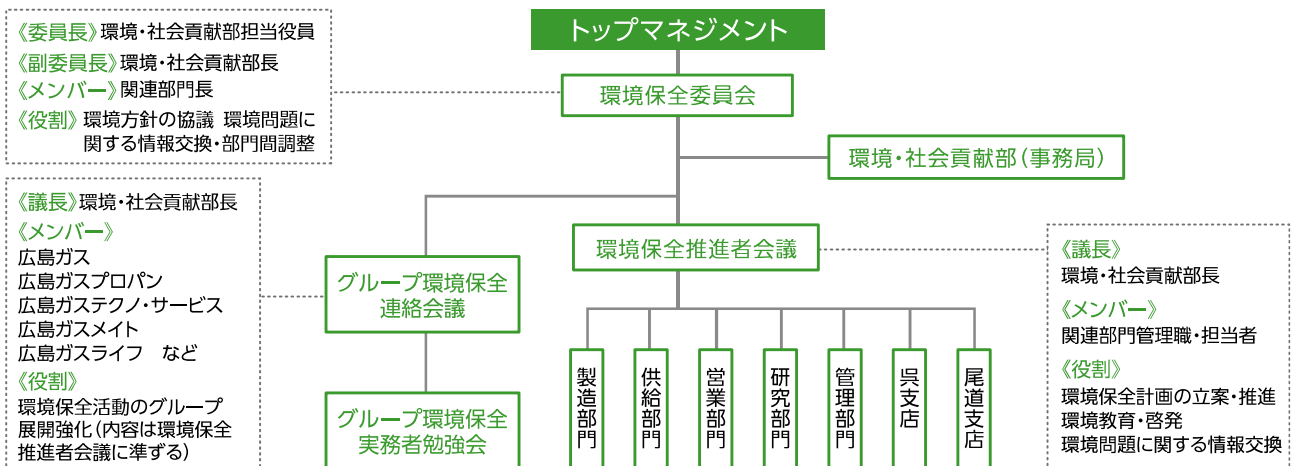
広島ガスグループは、事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、社会の持続可能な発展に貢献する。

広島ガスグループ環境行動指針



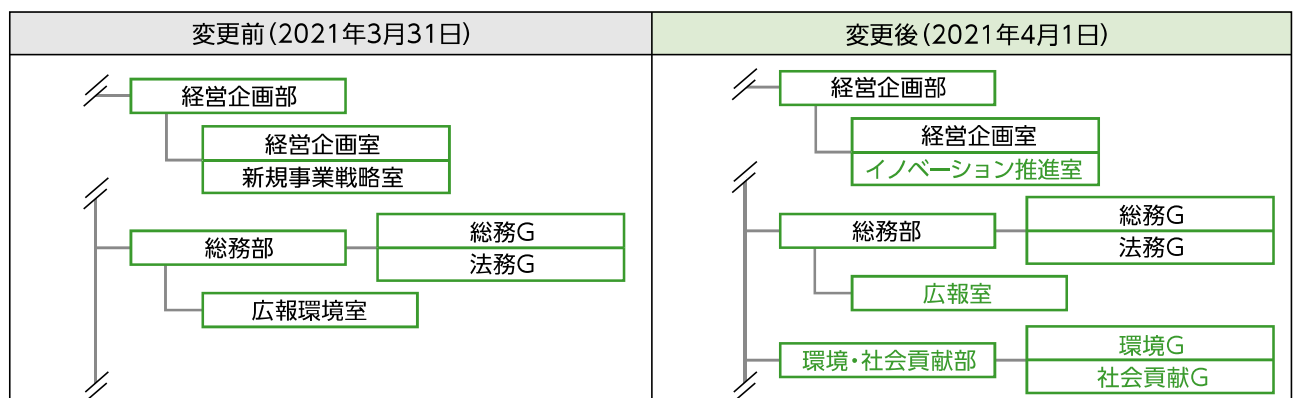
環境行動指針を支える環境マネジメント

◎ 環境活動推進体制 (2021年4月1日現在)



環境推進部門組織変更(2021年4月1日)

「環境・社会性」と「経済性」を両立させたサステナブルなESG関連事業の推進を目的として、経営企画部の環境関連事業と広報環境室の環境・社会貢献事業を統合し、ESG関連事業を推進する「環境・社会貢献部」を新設しました。



広島ガスグループ環境講演会

毎年、環境月間である6月に、広島ガスグループ役員を対象に、環境意識の啓蒙のため、外部講師を招いて、広島ガスグループ環境講演会を開催しています。

2021年度は、2020年10月に、SDGs実行宣言を策定したことを受け、SDGsをテーマとして、初めてライブ配信での環境講演会を開催しました。



広島ガスグループ環境講演会

開催日／2021年6月10日(木)

講師／リコージャパン株式会社 広島支社
SDGsキーパーソン 井上 恭子 様

テーマ／SDGsを“ジブンゴト”にする
～リコージャパン株式会社におけるSDGsの取り組みと
社内浸透策について～

環境保全・生物多様性への考え方

広島ガスグループは、環境特性に優れた天然ガスを中心とするエネルギー供給事業者として、環境保全・生物多様性に配慮した事業展開を幅広く認識し、環境保全活動に真摯に取り組むことで、社会の持続可能な発展に貢献していきます。



パラスト水確認作業

低炭素・脱炭素に向けた取り組み

2020年10月、政府は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすると宣言し、それをふまえて日本ガス協会は11月に、「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定し、2050年の脱炭素社会実現に挑戦していくことを発表しました。当社は、ガス業界の動向を注視しつつ、低炭素・脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

部門	ガス業界・広島ガスで貢献できること	参照ページ
家庭部門	・天然ガスの普及拡大 ・家庭用燃料電池「エネファーム」など高効率機器の普及拡大	→P.27 →P.28
業務その他部門	・天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大 ・エコオフィスの推進	→P.27 →P.28 →P.31
産業部門	・天然ガスの普及拡大 ・工業用高効率機器の普及拡大	→P.27
エネルギー 転換部門	・工場でのエネルギー使用の効率化 ・業務施設などにおける再生可能エネルギー設備の導入	→P.29

当社都市ガスの組成

LNGを主原料に都市ガスを製造し、ガス導管を通じてお客さまにお届けしています。毒性のないメタンを主成分とし、無色無臭のため工場で付臭しています。

【都市ガスの性状】

成分およびその含有量(天然ガス供給区域)

成 分		組 成	ガス種	13A
名 称	化学式	体積%		
メ タ ン	CH ₄	91	標準熱量	45MJ/m ³ (10,750kcal/m ³)
エ タ ン	C ₂ H ₆	5	比重 (空気=1)	0.639 (空気より軽い)
プロパン	C ₃ H ₈	2	CO ₂ 排出 係数	2.29kg-CO ₂ /m ³ (石炭の60%)
ブ タ ン	C ₄ H ₁₀	2		

(注) ガス組成は代表値を示す。

参考

LCA※1による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

この表は、化石燃料が採掘から燃焼までの各区分で排出する温室効果ガス排出量(CO₂換算値)を比較しており、LNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)が、他の化石燃料と比べ、LCA評価においても優位性があることを示しています。

区分	石炭	石油	LPG	LNG
生産	4.58	4.06	4.94	9.17
輸送	1.71	0.79	1.80	1.97
設備	0.11	0.08	0.11	0.04
燃焼	88.53	68.33	59.85	49.40
合計	94.93	73.26	66.70	60.58
指数※2	100	77	70	64

※1 LCA:ライフサイクルアセスメント
原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法。表の数値は、温室効果ガス排出量をCO₂換算し、総発熱量ベースで算出。

※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比。

*資料: エネルギー・資源学会「LNGおよび都市ガス 13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の未来予測」,
「エネルギー・資源」Vol.28 No.2 (2007)

① お客さま先での環境負荷の低減

広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努めます。

天然ガスの環境性

天然ガスはクリーンなエネルギーです。化石燃料の燃焼生成物など発生量比較(石炭を100とした場合)



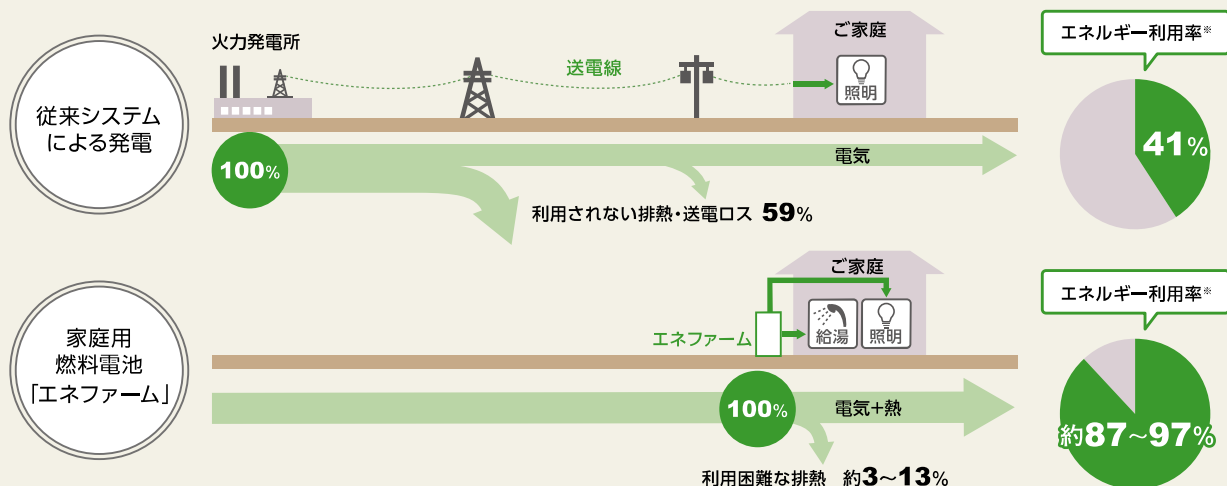
天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少ないため、化石燃料の中でもクリーンなエネルギーといわれています。
出典:資源エネルギー庁「エネルギー白書2013」

エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーションシステム

ガスコージェネレーションシステムは、天然ガスを使用して発電するとともに、同時に発生する熱を給湯や冷暖房で利用することで、エネルギーを効率的に利用できるシステムです。

エネルギー利用効率の比較

発電所で発生する熱は、そのほとんどが捨てられてしまいます。また、遠く離れた家庭に電気が運ばれてくるまでに、送電ロスなどが発生します。ガスコージェネレーションシステムである家庭用燃料電池「エネファーム」であれば、使う場所がエネルギーをつくる場所になるためロスが少なく、排熱も有効活用できます。約8割～9割のエネルギー利用率が期待でき、省エネ・環境性に優れています。



※LHV(低位発熱量:燃料を燃焼させたときに生成する水蒸気の蒸発潜熱を発熱量に含めない発熱量)基準。
※エネファーム製造メーカー公表値から。

出典:(一社)日本ガス協会

燃料転換の取り組み(工業用)

広島ガスでは、天然ガス販売量の約5割は工業用のお客さまが占めています。広島ガスが供給する天然ガスは半導体工場・自動車工場・製鉄所などさまざまな業種の生産工程において利用されています。

溶解炉、熱処理炉などの工業炉やボイラの燃料を重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。油燃料から天然ガスへの燃料転換によりCO₂排出量は約25%の削減が可能となります。



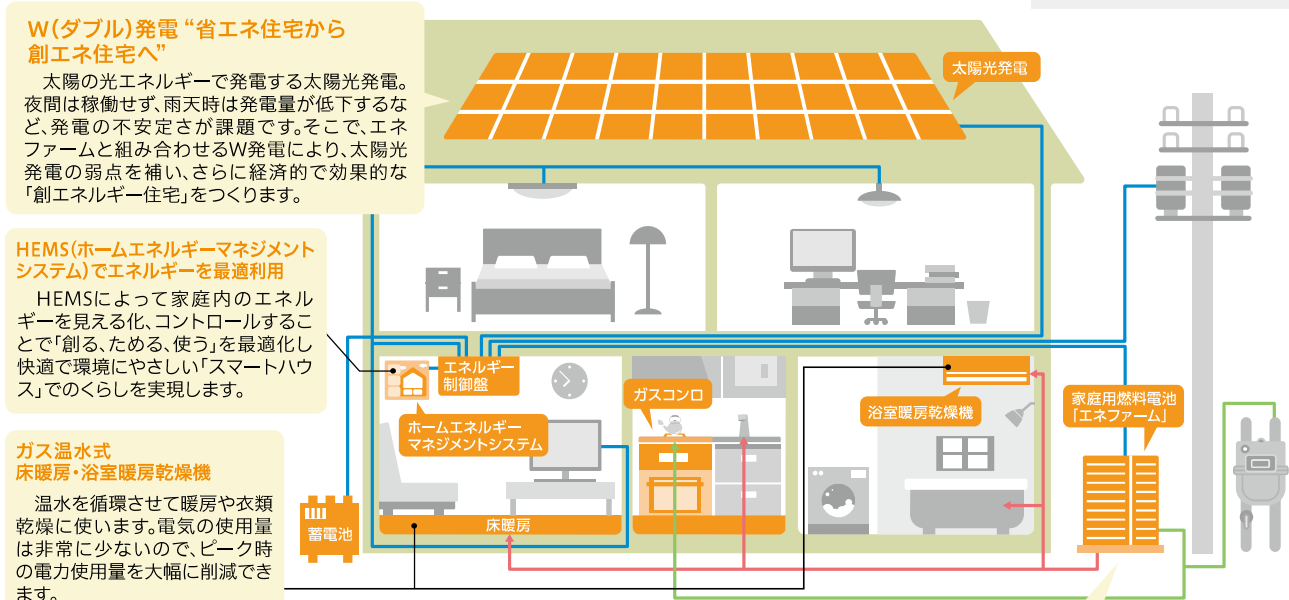
ガス工業炉

天然ガス高度利用の促進(家庭用)

天然ガスの普及拡大を図りつつ、エネルギーの高度利用を推進すること、具体的には太陽光などの再生可能エネルギーの出力変動を天然ガスで補完することなど、さらなる省エネ・省CO₂・ZEH* (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の普及拡大に貢献するとともに、便利で快適な暮らしをご提案します。

*ZEH・・・年間の一次消費エネルギー量の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

家庭用高効率機器の普及【環境にやさしい未来型住宅(スマートエネルギーハウス)の提案】



高効率給湯器「エコジョーズ」
(累計販売台数61,912台)
(2021年3月31日現在)
従来利用されていなかった排熱をコンデンシング技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器です。
高効率給湯器「エコジョーズ」

家庭用燃料電池「エネファーム」

P社製(固体高分子形)

家庭用燃料電池「エネファーム」

A社製(固体酸化物形)

(累計販売台数3,155台)
(2021年3月31日現在)
「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t〜2.1t抑えるエネルギー効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

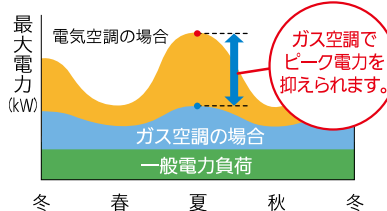
天然ガス高度利用の促進(商業用)

◎ 業務用高効率設備・機器の普及

ガスヒートポンプ(GHP)・ガス吸収冷温水機(ナチュラルチャー)の普及促進

ガスヒートポンプ・ガス吸収冷温水機は、ガスで空調するシステムで、夏期・冬期における電力のピークカットに大きな効果を発揮します。

【GHPによる消費電力の平準化(イメージ)】



環境技術開発(広島ガス技術研究所)

◎ 省エネ機器・システム開発

未利用エネルギーであるガスの圧力差を利用した発電システムを開発しました。これは都市ガスを減圧する際の膨張エネルギーで発電し、特徴は燃料が不要、CO₂を排出せずに発電し、簡単な構造で中小ガス事業者や大口のお客さまへ導入しやすいシステムです。現在、共同開発者である(株)オンセックより販売しています。



環境目標 2020年度実績と2021年度目標について

目標項目	2020年度 目標・実績	2021年度 目標
お客さま先でのCO ₂ 排出量を年間1万t以上削減する。	(万t・CO₂) ↑ 良い 4.0 3.0 2.0 1.0 0 1.0 0.6	天然ガスシフトおよび天然ガスの高度利用を推進し、低炭素・脱炭素に向け、お客さま先でのCO₂削減に貢献する。

② 事業活動における環境負荷の低減

広島ガスグループの事業活動が環境に与える負荷を省エネ・省CO₂の推進などにより軽減するとともに、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制=リデュース、再利用=リユース、再資源化=リサイクル)を積極的に推進します。

廿日市工場コージェネレーション設備と高効率化改造

2004年、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、排熱の活用によるCO₂排出量の抑制に寄与しています。また、余剰電力は小売電気事業者などへ卸売供給しています。



ガスコージェネレーションシステム
(廿日市工場)

廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- 発電容量/11,000kW
・高効率天然ガスエンジン
5,500kW×2基
- 送電容量/最大10,000kW
・特別高圧22kV

2018年3月末から2018年7月末にかけてガスエンジン高効率化改造工事を行いました。

本工事は、今後の長期使用を見据えて、ガスエンジンのGSI(ガス・スパーク・イグニッション)化への改造とともに、発電機のオーバーホール、関連ポンプの更新を行い、設備全体の信頼性の向上と合わせて、高効率化と長寿命化を図る目的で実施しました。

GSI化により、発電効率の改善、着火補助燃料設備の不要化、メンテナンス費用削減など大きなメリットを享受できるものと考えています。

本取り組みは、「コージェネ大賞2019」の産業用部門最高位である「理事長賞」を受賞しました。



コージェネレーション改造工事



コージェネ大賞表彰式

廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業

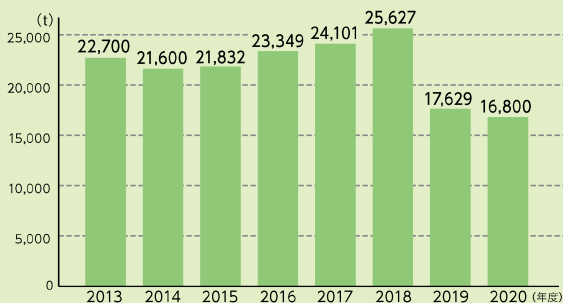
2019年4月から、廿日市工場の西側隣地に新たに建設された廿日市市廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)から廿日市工場への熱供給を開始しました。隣地からの未利用熱を供給してもらうことで、LNG気化器の熱源発生設備である温水ボイラの稼働を減らすことができ、省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)における成績向上につながります。近隣事業所同士で熱を融通することによって、地域での環境負荷低減に貢献しています。



廿日市工場熱交換器

広島ガス全事業所CO₂排出量推移

当社主力工場である廿日市工場の熱融通事業等により、事業活動におけるCO₂排出量は大きく減少しました。(2020年度は、2013年度比約26%減)



再生可能エネルギーの普及拡大

2017年10月に設立した海田バイオマスパワー(株)の海田発電所(バイオマス混焼発電所)は、2021年4月に営業運転を開始しました。本事業では、広島県内の林地残材などの未利用木材のほか、海外の木質系バイオマスを使用します。さらに、2021年6月から東広島市志和町志和堀にて、広島ガス志和堀発電所(小水力発電所)の営業運転を開始しました。

また、2013年10月から、呉市の旧阿賀工場跡地にて、大規模太陽光発電所(733kW)の運転を開始し、順調に稼働しています。

本社ビル・支店・ショールーム・グループ会社でも太陽光発電設備を設置して、環境保全活動に努めています。

再生可能エネルギーの普及拡大を通じて、低炭素社会の実現に寄与してまいります。



海田発電所(海田バイオマスパワー)(海田町明神町)



小水力発電 取水堰および導水路(東広島市志和町)



大規模太陽光発電所(呉市阿賀)

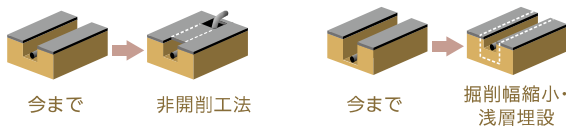


事業所太陽光発電(広島ガスプロパン)(広島市安佐南区緑井)

ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進などによりアスファルト・コンクリート・土砂などの排出量の削減に努めています。

ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化



これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。

【アスファルトコンクリートの再資源化】

アスコン塊は2020年度にグループ全体で約2万8千t発生し、ほぼ全量を再生アスファルト合材として、再資源化しています。

◎非開削工法による掘削土の削減

道路を掘らずにガス導管を埋設する工法

◎浅層埋設による掘削土の削減

道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法

◎掘削幅縮小による掘削土の削減

道路掘削幅を従来より縮小する工法

◎掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用

ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

【ガスメーターの再利用】

使用済ガスメーターの分解・整備・検査による再利用に努め、2020年度は、約4.2万個(約96%)を再利用しました。

ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン(PE)管を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



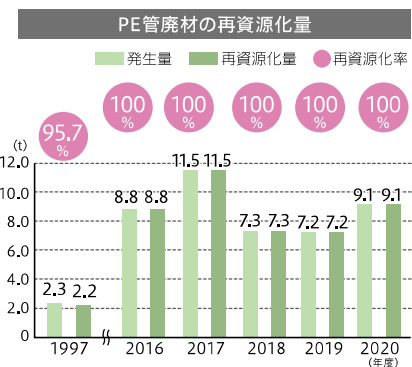
ポリエチレン管



ポリエチレン管リサイクル品
(病院向けボックス)



ポリエチレン管の可とう性



環境に関する法令順守

2020年度は、環境に関する法令違反や罰則の適用はありませんでした。

省エネ法への対応

省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)ならびに温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)に基づき、エネルギー管理統括者などの選任、ならびに全事業所を対象とした定期報告書および中長期計画書などを監督官庁である中国経済産業局に毎年提出しています。

2021年5月に発表された経済産業省の「事業者クラス分け評価制度」では、Sクラス(優良)と評価されました。

今後も、法令に基づきエネルギーの有効活用に取り組んでいます。

自動車環境管理

広島県条例「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、自動車使用合理化実施状況報告書、広島市条例「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、自動車環境報告書などを行政に毎年提出しています。

今後も、条例に基づき適正な車両管理・低公害車の導入に努めています。

土壌調査とその対応

天然ガス転換完了を機に、石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、ヒ素、シアンなどによる汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えていますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地(現:海田基地)については、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。

産業廃棄物処理場の実地確認

廃棄物処理法(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」)、広島県条例に基づき、広島ガスグループから産業廃棄物として排出される処理場の実地確認を行っています。



産業廃棄物処理実地確認

化学物質の管理

【PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理】

トランス、コンデンサーなどに使用されていたPCBは保管場所に集積・管理し、2014年5月に高濃度PCB、2015年9月に低濃度PCBの無害化処理を実施しました。

【水銀含有機器の処分】

2013年水俣条約が採択、2015年「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が制定・公布され、2017年度に広島ガス、2018年度に広島ガスグループの水銀含有機器の調査・回収・処分を完了しました。

【PRTR法*への対応】

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2020年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

*PRTR法:特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出ることを定めた法律

【アスベスト使用状況調査とその対応】

広島ガスおよびグループ会社3社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備などにおける使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが、一部使用が確認され、除去作業を2005年に完了し、調査結果を同年公表しました。

事業所における省エネと資源の有効活用

エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO₂排出削減、廃棄物排出の削減などを推進しています。全国的な節電の必要性などをふまえ、オフィスに加え、家庭での省エネ行動例を社内周知しています。

エコオフィス活動項目	①エネルギー消費の低減 [節電、空調管理、節水、公共交通機関の利用促進、クールビズ(5月～10月)の実践、省エネ機器(LED照明など)への更新など]
	②資源消費の低減 [紙の使用削減と再資源化、タブレット端末、電子黒板の導入など]
	③廃棄物の発生抑制と適正処理 [ごみの分別強化、リサイクル推進など]
	④自動車管理、低公害車の導入 [使用頻度の少ない車の契約解除対応]
	⑤自転車の活用による環境保全 [近隣・市内中心部へ移動の際、自転車を活用]



節水装置



電子黒板



ゴミ分別



自転車活用

環境目標 2020年度実績と2021年度目標について

目標項目	2020年度 目標・実績	2021年度 目標
(1) ガス製造工場の過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	目標: -1% 実績: -13.6% (達成)	目標: -1以下
(2) 広島ガス事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、55g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)以下を維持する。	目標: 55 実績: 31 (達成)	目標: 31以下
(3) オフィスの過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	目標: -1% 実績: -2.1% (達成)	目標: -1以下
(4) 低公害車の割合を2020年度までに70%とする。	目標: 70% 実績: 84% (達成)	目標: 82以上
(5) 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2020年度まで1t以下を維持する。	目標: 1t 実績: 0.2t (達成)	目標: 1以下
(6) ガス導管工事から発生する掘削土量を、従来工法に比べ35%以上削減を維持する。	目標: 35% 実績: 42% (達成)	※ (7) に統合
(7) ガス導管工事から発生する掘削土量の再資源化率85%以上を維持する。	目標: 85% 実績: 99% (達成)	目標: 90以上

③ 地域環境保全への貢献

広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に積極的に取り組みます。

地域清掃活動

毎月一回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、クリーン太田川河川一斉清掃など行政主催の清掃イベントにも参加しています。



事業所周辺清掃

環境学習・環境啓発活動

行政・学校・地元企業と連携し、環境保全・教育活動を推進するとともに、ショールームなどでの環境セミナー、調理実習、施設見学説明会など、体験型学習を行っています。



環境講演・セミナー

年月	名称	内容
年間を通じて	環境学習(エコ・クッキング*教室など)	社会分野(P.37)を参照ください
	出張環境講演・セミナー	地元企業などでの環境講演セミナー

*「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です。

各種環境イベントなどへの出展

CSR活動や、天然ガスの環境性、省エネガス機器の紹介などを実施しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、環境イベントの多くが中止になる中、オンラインでのイベントに出展しました。

年月	名称
2020.8	ひがしひろしま環境フェア2020(オンライン開催)

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員などとして参画し、環境啓発・教育・イベントなどを支援しています。

団体・事業	事務局
ひろしま地球環境フォーラム	広島県
広島県カーボン・サークキュラー・エコノミー推進協議会	広島県
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市
ひろしまエコパートナー	広島市

団体・事業	事務局
くれ環境市民の会	呉市
エコネットひがしひろしま	東広島市
SDGs未来都市東広島推進パートナー	東広島市
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局

広島県の森林保全参画による地域環境貢献

「このまち思い 広島ガスの森」森林保全活動

2019年、広島ガス創立110周年を機に、地域環境貢献の一環として、広島県緑化センター内の8.13haの森林地区を「このまち思い 広島ガスの森」と命名して、森林保全活動をはじめました。地域のエネルギー事業者として、CO₂削減への貢献に加えて、多くの方に喜んでいただける、笑顔あふれる場になるよう、イベント開催や森の整備などを実施しています。



このまち思い 広島ガスの森



植樹活動



除伐作業



イベントご参加者集合写真

環境目標 2020年度実績と2021年度目標について

目標項目	2020年度 目標・実績	2021年度 目標
CSR・環境分野でのお客さま・地域の方との接点を年間15,000人以上とする。	目標 15,000 実績 3,400 【CSR・環境】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止・縮小のため	環境保全活動および地域貢献活動を通じた地域の方との接点を強化する。 (年間16,000人以上)

環境負荷低減フロー (2020年度実績)

環境保全活動における
お取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリーなどの役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメントなど)への協力を依頼しています。

●環境保全に関する覚書 ●安全環境教育

INPUT

原料の調達・輸送

●原料(LNG) / 355千t

【採掘・精製・液化】



ロシア・アリゴロドノエ基地

【海上輸送】



LNG船「サン アロス」

ユーティリティ
(製造所)

都市ガス
5,402千m³

電力
3,952千kWh

水
16.9千m³

都市ガスの製造

LNG受入・都市ガスの製造



廿日市工場

LNG
(液化天然ガス)

気化 熱量調整・付臭

都市ガス

ユーティリティ
(事業所)

都市ガス
355千m³

電力
3,427千kWh

水
24.2千m³

都市ガスの供給・事業所など

●導管(パイプライン)総延長 / 5,232km



ガスホルダー



地区整圧室(地区ガバナ)

お客さま先で

●ガス販売量 / 569百万m³

【家庭用】

家庭用燃料電池「エネファーム」
高効率給湯器「エコジョーズ」
発電・給湯・厨房など



【商業用】

ホテル・ビル・学校・
製造工場など

(株) 藤い屋様



【工業用】

製造工場など



OUTPUT

掘削・液化・輸送時

CO₂ 215千t

CO₂(製造所)
14.1千t

産業廃棄物
(製造所)
3.7t

95%

再資源化

産業廃棄物
(製造所)
3.5 t

一般廃棄物
93.5 t

82%

一般廃棄物
76.7 t

CO₂(事業所)
3.1千t

産業廃棄物
(事業所)
195.0 t

90%

産業廃棄物
(事業所)
176.1t

掘削土
111.9千t

99%

掘削土
111.8千t

ポリエチレン管
9.1t

100%

ポリエチレン管
9.1t

鋳鉄管・鋼管
238.4t

100%

鋳鉄管・鋼管
238.4t

お客さま先

CO₂ 1,305千t

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした（一社）日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」（2002年10月改定）に基づき集計しました。

2020年度の集計実績

環境保全コスト

（単位：百万円）

環 境 保 全 コ ス ト 項 目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音などの防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	24	8	21	17
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	266	49	109	95
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	0	0	21	20
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、環境マネジメントシステム(EMS)構築、環境対策組織などのコスト	0	0	18	10
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化など(主要内容：旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	0	4	31	26
お客さま先	環境 R&D※	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	4	5	26	26
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表など		0	0	23	18
合 計			294	66	249	212

※環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものです。

2020年度の効果

【環境負荷水準】

環境負荷水準	2019年度	2020年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	35	44
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	31	31
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	5	5
掘削発生土外部排出量 (千t)	1	1
産業廃棄物発生量(最終処分量)(t)	36	19
一般廃棄物発生量(最終処分量)(t)	12	17

【企業内経済効果】

（単位：百万円）

経済効果	2019年度	2020年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	281	273
燃料ガス使用量削減による経費削減額	121	132
ガスコージェネレーション発電に伴う売電収入	370	345
太陽光発電に伴う売電収入	34	35
その他	1	1
合 計	807	786

【全社設備投資額における環境設備投資額比率】

	2019年度	2020年度
全社設備投資額(百万円)	6,735	7,147
環境設備投資額比率(%)	4.4	0.9

【全社総売上高における環境費用額比率】

	2019年度	2020年度
全社総売上高(百万円)	63,358	55,717
環境費用額比率(%)	0.4	0.4

- 経済効果については、工場の熱融通による燃料使用量削減や、自家発電、ガス導管工事における掘削発生土の削減、太陽光発電に伴う売電収入などにより、786百万円の効果となりました。
- 太陽光発電に伴う売電収入は、年間35百万円となりました(発電量878千kWh)。

社会分野

地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域社会との関わり（芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）

広島ガスは、地域に深く根差した企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援（次世代教育への取り組み）」の4分野を軸に、2030年ビジョンで設けた新たな枠組みである「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」を意識した取り組みを展開しています。



→ このまちと共に成長・発展

芸術・文化振興、地域振興

「第34回広響ホットコンサート」の開催

中国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

2020年度は「このまち応援シンフォニー」と題し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるこのまちを応援するため、十分な感染拡大防止策を講じたうえで、広島文化学園HBGホールにて開催しました。指揮者の山下 一史氏とピアノの小林 愛実氏を迎え、ご来場いただいた約590名のお客さまに美しい旋律をお届けしました。



コンサートステージ

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を深めるとともに、両国間の交流推進を目的として、1996年から広島インドネシア協会の事務局を運営しています。特に、在広島インドネシア留学生会、広島で働くインドネシア看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある会員などと連携し、さまざまな活動を行っています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止や延期となりましたが、「インドネシア文化に親しむ会」では、十分な感染拡大防止策のもと、インドネシア映画を会員の皆さまと鑑賞することができました。また、コロナ禍で生活に大きな影響を受けた広島のインドネシア留学生（特に私費留学生）を支援するため、中止となった事業予定相当額を在広島インドネシア留学生会に寄付しました。



インドネシア文化に親しむ会（映画鑑賞会）



在広島インドネシア留学生会に支援金目録を贈呈

「このまち思い えがお食堂」を通じた温かいコミュニティづくり

未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成や、ずっと住み続けたいと心から思えるこのまちの明るい未来づくりを目的として、こども食堂「このまち思い えがお食堂」（事務局・広島ガス）が、2020年7月、ガストピアセンターにオープンしました。毎月第1または第2土曜日に、食材やお弁当の提供をはじめ、学習支援や体験遊びなどを実施しています。



ボランティアによる弁当調理



食品配布



えがお企画（体験遊び）

ひろしまフラワーフェスティバルへの協賛

毎年、ひろしまフラワーフェスティバル（5月3日～5日開催）にステージやブースの出展や、神楽フェスティバルへの協賛などを通じて、地域の皆さまとともに地域活性化に貢献しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて開催規模縮小（神楽フェスティバルは中止）となり、2020年度に続いてステージ・ブース出展などは実施できませんでしたが、「このまち思い SDGs実行宣言」イメージイラストの看板などを掲示しました。



スポーツ振興

広島ガスバドミントン部 S/Jリーグ上位をめざして

バドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームです。国内最高峰である「バドミントンS/Jリーグ」などの上位をめざして、日々活動を続けています。

2020年12月には、「第74回 全日本総合バドミントン選手権大会」において、下田菜都美選手が3位に入賞し、2021年日本代表選手に選出されました。



S/J LEAGUE WEST in 山口2020



日本代表に選出された下田菜都美選手

広島ガススキー部 海外遠征など競技活動・地域貢献活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、数々の国際大会に出場しています。

2020年度は世界選手権7位入賞、ワールドカップ銅メダル獲得などの成績をあげました。ひろしま観光大使としても活動しており、子ども用オリジナルスノーボード用品の貸与企画において、子どもたちへの動画メッセージを届けるなど、広島での地域貢献活動にも力を入れています。



SAJ令和3承認第00217号(ロイター=共同)



竹内智香選手

動画「うち時間でトレーニング」を公開

バドミントン部とスキー部は、コロナ禍でのうち時間を楽しく豊かに過ごしていただくため、当社フェイスブックにおいて、「うち時間でトレーニング」を公開しました。



バドミントン部は日頃から実践している各種トレーニングを、スキー部はアスリートヨガのインストラクターの資格も持つ竹内選手が基本ポーズを紹介し、多くの方にお楽しみいただきました。

サンフレッチェ広島 「広島ガススポンサードゲーム」を開催

「サンフレッチェ広島」のサポートと、スポーツを通じた地域活性化のため、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2020年度は観客収容人数や実施イベントなどにさまざまな制限があるなか、広島ガスWeb会員や当社役職員をはじめとしたサポーターがエディオンスタジアム広島で、精一杯の熱い心の声援を送りました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2020年8月)

広島東洋カープ 「広島ガス このまち応援スポンサードゲーム」を開催

広島東洋カープの応援を通じて、広島のまちを盛り上げるため、2018年度から毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2020年度は、コロナ禍のなか十分な感染症拡大防止策を講じて広島市民球場(MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)に熱いカープファンが集結し、応援を楽しみました。



カープスポンサードゲーム(2020年10月)

教育支援(次世代教育への取り組み)

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、食育、火育、エネルギー・環境教育、防災教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。

次世代教育活動をまとめたパンフレットやホームページなどを通じて、小学校・中学校を中心としたさまざまな対象学年や習熟度に応じて選択いただけるよう、出張授業などを紹介・募集しています。



次世代教育プログラム
パンフレット



ホームページ「こどもエネルギー ACTION!!!」
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/action/>

出張授業

エネルギー・環境教育

サイエンスショー【小学生・中学生対象】

冷熱・燃焼実験や燃料電池実験を通じて、天然ガスの特性やエネルギーや環境の大切さなどをわかりやすく伝え、理科や科学の楽しさを体験することができます。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

技術研究所 理科実験授業【小学生・中学生対象】

技術研究所の職員が、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」についてわかりやすく伝えています。

防災教育

ライフライン防災教室【小学生・保護者対象】

広島市水道局、中国電力ネットワーク(株)と広島ガスが3者合同で、小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。災害が起こった際に役立つ、ガス・電気・水道に関する知識の提供を通じて子どもたちの防災意識を高めることを目的に実施しています。

また、2016年度からは広島ガス単独での広島ガス防災教室も実施しています。



ライフライン防災教室の様子

サイエンスショー／広島ガス防災教室のDVD制作

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの出張授業が実施困難となったため、理科実験「サイエンスショー」と、学校現場や地域でもニーズの高まっている「ライフライン防災教室」のDVDを制作し、希望する学校に配布しています。



食育

エコ・クッキング※教室【小学生・中学生対象】

食べ物やエネルギーを大切にすることを学び、ムダのない調理の工夫などを通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片づけに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です。

味覚教室【小学生対象】

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。



味覚教室の様子

火育

火育教室【小学生対象】

炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、さまざまな炎の観察や比較、火おこし体験などを通じて「火に親しみ、火を学ぶ」体験ができます。



火育教室の様子

科学講座

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)【小学生対象】

科学を通じて子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携し、広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施しています。例年16名の小学5・6年生を対象に年間17回の講座を行っていますが、2020年度はコロナ禍のため講演会に変更し、科学の魅力を広くお伝えしました。



SSM講演会の様子

情報発信・お客さま満足度向上の取り組み

ステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIR・環境保全に関する情報開示、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



記者会見



ホームページ「プレスリリース」

IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、広島ガスの活動内容や財務状況の全容を開示しています。



株主向け報告書

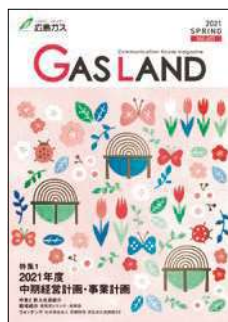


(中間)

(期末)

グループ広報誌

グループ役職員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

消費者団体との懇談会

当事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため（公社）広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



（公社）広島消費者協会との定例懇談会

企業スローガンの浸透に向けて

企業スローガン「このまち思いエネルギー。」に込めた思いをより多くの皆さまにお伝えするため、アニメCM「このまち思い物語」を放映しています。また、2018年度からは新たにエピソード募集キャンペーンを実施しています。さまざまな媒体を通じて、広島島の魅力をお伝えするための活動を展開しています。

【CMライブラリー】



【エピソード募集結果】



エピソード募集キャンペーンチラシ



ソーシャルメディアでの情報発信

お客さまへの最新情報を発信するため、ホームページに加え、Facebook、Twitter、Instagram、YouTubeを開設しています。2020年度にはInstagram開設記念として、「このまち思いクッキングライブ」と題し、ショールームからクッキングイベントをライブ配信しました。

また、2021年6月から、広島ガスオリジナルキャラクター「ガスキー」がお送りする「食」のエンターテインメントをYouTubeにて提供を開始しました。



広島ガス公式Twitter
@hirogas_saigai



広島ガス公式Facebook
@hiroshimagas



広島ガス公式Instagram
@hiroshima_gas



広島ガス公式YouTube



YouTubeチャンネル「ガスキーちゃんねる」



ガスキー

ガス展開催

例年、秋に、ガスのある快適で環境にやさしい暮らしを提案する「ガス展」を開催し、お客さまへの感謝の気持ちをお伝えしています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、代わりに専用フリーダイヤルやガス機器受付サイト「広島ガスWEBモール」(P.8参照)を活用して、ガスコンロやガスファンヒーターなどを特別価格で販売する「このまち思いセール2020」を実施しました。

求める人材像「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」

広島ガスが求める人材像は、「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」です。具体的には、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

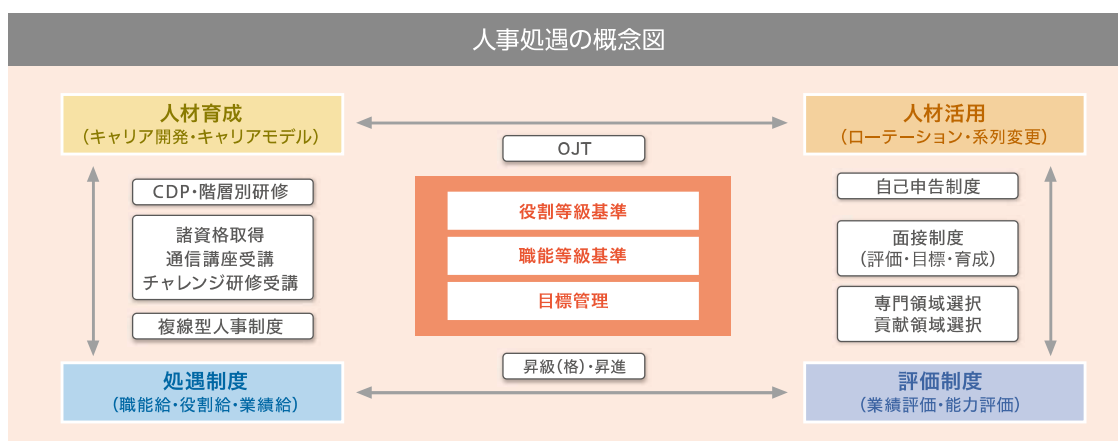
ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要であるため、従業員は全員が総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望もふまえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

人事処遇制度

2030年ビジョンの基本方針の一つとして「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。

会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評定者に対しては、新任管理職研修などの機会を利用し、評定者訓練などを実施しています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【研修体系図】

	新入社員	管理職
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修	主任研修、係長研修、課長代理研修、新任管理職研修、管理職研修
キャリア開発研修 (CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修)、CDP3 (入社3年目研修)	CDP30 (30歳次研修)、CDP40 (40歳次研修)、CDP50 (50歳次研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など	
ガス技能研修 (社内資格研修など)	技能資格研修〈営業 (機器関係など)〉・〈供給 (配管関係など)〉 技能向上研修 (スキルアップ)〈営業〉〈供給〉・オーダーメイド研修 など	
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)	各種部門内研修、各種社外講演会	
人権啓発推進	コンプライアンス研修会	
国内外留学	キャリアチャレンジ支援、国内留学、海外留学	
自己啓発支援	通信講座受講支援、資格取得支援、マネジメント力養成講座、オンライン英会話	
その他	メンター研修、チーフ研修、女性活躍推進、定年退職再雇用者など	

働きやすい職場環境をめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

働き方改革への取り組み

「働き方改革」については、2017年度から広島ガスとしての取り組みを開始しており、①総労働時間の短縮、②多様で柔軟な働き方への環境整備、③多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)の3つの取り組みを軸に活動を進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」をめざし、従業員がやりがいや働きがいを持ち、生産性の高い働き方を実現していきます。

① 総労働時間の短縮

ノー残業デー

- 部署ごとに残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

② 多様で柔軟な働き方への環境整備

フレックスタイム制度

- 1日の所定労働時間を固定せず、1ヵ月単位で総労働時間を管理していく制度
- 社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

育児短時間フレックス勤務制度

- 社員の育児支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定。仕事と育児の両立を支援

【育児短時間フレックス制度利用者の推移】

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
育児短時間フレックス利用者(人)	11	12	13	17	17

テレワーク勤務制度の導入(2021年1月)

- 新たなワークスタイルへの対応と非常時の事業継続体制の整備を進め、「在宅勤務」「サテライトオフィス勤務」「モバイル勤務」の3つを導入し、柔軟な働き方を推進

③ 多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)

女性の採用に占める割合を30%以上とする

女性の職域を全部門、グループに拡大する

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間フレックス勤務制度」の導入や、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりに推進しています。これらは男女ともに働き方や育児・介護参加の視点による取り組みであり、社会的責任をはたす上でも大変重要であると考えています。

【育児休業制度利用者と復職率の推移】

区分	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
育児休業制度利用者(人)	2	5	4	8	7
育児休業制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

社員の声 育児休暇を取得

2019年11月に第一子を出産し、育児休暇を取得後2020年10月に復職しました。復職後にはこれまでと異なる働き方になることに不安を感じていましたが、短時間勤務制度を利用し職場の方々にフォローいただいているおかげで、仕事と育児の両立に充実した気持ちで取り組んでいます。子どもの体調不良での早退や急なお休みをいただくこともあります。上司をはじめ職場の皆さまがご理解くださり温かいお言葉をかけてくださることに大変感謝しております。限られた時間の中ですがその分集中して業務に取り組み、仕事も子育てでも楽しんでいけたらと思います。



販売推進部

力田 まりな

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
期末要員数[人]	669(119)	669(127)	661(133)	672(137)	685(147)
平均年齢[歳]	43.4(39.9)	43.5(39.7)	43.3(39.5)	43.6(39.5)	43.4(39.0)
平均勤続[年]	18.7(15.2)	18.9(14.5)	18.6(14.1)	18.4(13.3)	18.4(13.1)
新卒採用[人]	17(4)	21(7)	22(7)	20(8)	24(10)
定年退職[人]	10	12	11	8	8
(うち再雇用[人])	(7)	(10)	(9)	(7)	(8)
障がい者雇用数[人]	14	15	17	18	18

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を順守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広島ガス人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりに力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎年実施しており、その結果をもとに、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりに進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(同和問題の解決をめざす広島企業連絡会)に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

労働安全衛生活動の方針と体制

基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令順守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを順守する。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

推進体制

安全衛生管理組織のもと、本社地区の安全衛生委員会(担当役員参加)を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全衛生活動を推進しています。

また、経営会議への安全衛生活動状況の定期報告などを通じて活動内容の充実に努めています。

労働災害の防止

安全意識の向上

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、2016年から毎年「安全大会」を開催するなど、労働災害防止に努めています。

健康経営に向けた取り組み

健康への投資を行うことは、役職員の活力や日々の生産性の向上など、組織の活性化をもたらすこととなり、結果的に業績や株価といった企業価値の向上につながるとの考えのもと、2021年より健康経営に向けた取り組みをスタートしました。

従業員の健康の保持増進に向けて、産業保健スタッフ(産業医・保健師)が中心となり、取り組みを推進しています。

【重点項目と評価項目】

重点取り組み項目	評価項目
1.生活習慣の改善	喫煙率の低下 ウォーキング実施者の増加
2.ストレスチェック結果の向上	ワーク・エンゲイジメントの向上
3.健康診断結果の改善	法定項目有所見率の低下

重点取り組み項目については、グループ各社においても2030年までの目標値を設定し、グループ全体で取り組みを推進しています。



産業医の健康指導

【主な取り組み】

◎ 喫煙率の低下

構内喫煙場所の屋外化の推進、禁煙指導の実施

◎ ウォーキング実施者の増加

健康保険組合と連携したウォーキングキャンペーンの実施、健康情報の発信

◎ メンタルヘルス対策

全従業員を対象としたストレスチェックの実施、新入社員、人事異動者、長時間労働者に対するフォロー実施、外部機関の相談窓口設置

◎ 有所見率の低下

定期健康診断後の全従業員を対象とした面談などのフォローを行い、食事指導や運動その他日常生活指導を実施



こくぶ かつひこ
國部 克彦氏

神戸大学大学院
経営学研究科 教授

広島ガスのCSR活動は、2020年度も着実に進展されたと思います。バイオマス発電事業や小水力発電事業の展開などの再生可能エネルギーに関する取り組みは、今後の新しいエネルギー社会を見据えた活動として評価できます。また、廿日市工場が2020年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞されるなど、省エネルギー面での活動も充実しています。

また、2020年度の特筆すべき活動は、「このまち思い SDGs実行宣言」を策定されたことです。SDGsの推進は、現在、多くの企業が取り組んでおりますが、地域社会への貢献を軸にSDGsに取り組む方針を示されたことには、大きな意義があります。「このまち思い えがお食堂」、「このまち思い 広島ガス神石高原の森」、そして新型コロナウイルス感染症に起因する諸問題の解決に対する活動など、ユニークでかつ有効な地域社会のための活動を次々と展開されていることも大変評価できます。

SDGsは2030年までの目標ですので、息の長い活動が求められます。今後は現在の活動を推進すると同時に、広島が抱える地域社会の課題をさらに洗い出し、広島ガスがどこでどのような貢献ができるのかを検討されるのも長期的な視点からは有効と思います。そのためには、広島ガスに働く方々がこうした取り組みの推進力となれる仕組みを構築し、より一層、積極的に活動を展開してほしいと思います。



おかむら きよし
岡村 清氏

HIT
一般社団法人 広島県観光連盟
専務理事

「共感」を得て信頼される企業であり続けることへの期待

昨年4月にHIT(Hiroshima Tourism Association)=広島県観光連盟が誕生して1年余りが経ちました。コロナ禍での1年でもありましたが、我々HITは顧客視点での魅力あふれるプロダクトづくりに全力を尽くし、県民、市町、観光事業者の皆さん=パートナーの皆さんと、志を一つにして取り組むことなどを掲げて、事業を推進しております。こうした取り組みを進めるにあたってのキーワードは「共感」です。圧倒的顧客志向のもと、ステークホルダーの「共感」を得ることで、我々の取り組みをより加速させていきたいと考えております。

広島ガスは、「このまち思いエネルギー」を企業スローガンに掲げられ、地域に根差したエネルギー会社としての企業活動に加え、スポーツ、環境、芸術文化などの社会貢献活動にも積極的に取り組んでおられます。

こうした幅広い活動は、地域の皆さまとの「共感」をベースとした信頼関係が不可欠であり、HITとは雪山への誘客に向けた取り組みと連携していただいております。具体的には、広島ガスのスポーツ分野での取り組みにおいて、本県の雪山への誘客につなげるためスノーボード用品を寄贈いただくとともに、ひろしま観光大使で、広島ガス スキー部所属の竹内智香選手の協力のもと、雪山の情報発信やスノーボード教室を開催し、次世代の育成や地域貢献活動を積極的に進めるなど、本県の魅力発信にも大きく寄与していただいております。

広島ガスにおかれては、引き続き地域の発展につながるさまざまな取り組みを進めていただきますとともに、地域の皆さまの「共感」を得て信頼される企業であり続けることを期待しています。



くりはら りつし
栗原 理氏

公益社団法人 広島消費者協会
会長

エネルギー革命に向けて不断の意思疎通を

弊協会は毎年、広島ガスと定例の懇談会を開催しています。これは光熱水費が家計消費支出に無視できない割合を占めていることにあわせ、消費者として循環型社会形成への意識向上が望まれていることなどから、事業者の活動や消費者の声を相互に伝達するために行っているものです。2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、移動を伴わないセミナー形式で行いました。内容はバイオマス混焼発電所である海田発電所の仕組みや進捗、広島ガスのCSRに向けた取り組みが中心でした。オブザーバーとして地元の工学系大学の学部生、院生各一名の参加があり、質疑応答に弾みのついた、興味の尽きない懇談会でした。この取り組みは今後も継続していきたいと存じます。

2020年10月26日、菅首相の所信表明演説において「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」との目標が明確化されました。この実現は相当手強いと言わざるを得ず、わが国の政府、家計部門をはじめ企業部門の各経済主体は、その実現に向けてドラスティックな改革が求められています。弊協会としても事業者、行政と対話し手を携えて、啓発活動などを通じた意識の改革を図り、私たちが将来にわたり、真に豊かに暮らすことができる社会の実現の一端に関わっていきたくと考えております。

広島ガスの概要

1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初的气体事業者となりました。以来、110年以上にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内7市とその周辺地域の415千戸のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスを主な原料とした都市ガスをお届けしています。

本社所在地 / 広島市南区皆実町2丁目7-1
TEL 0570-002-888

創 立 / 1909年10月

資 本 金 / 52億3百万円

従 業 員 数 / 685名

事 業 内 容 / ① ガス事業
② ガス器具の販売
③ 液化天然ガスの販売

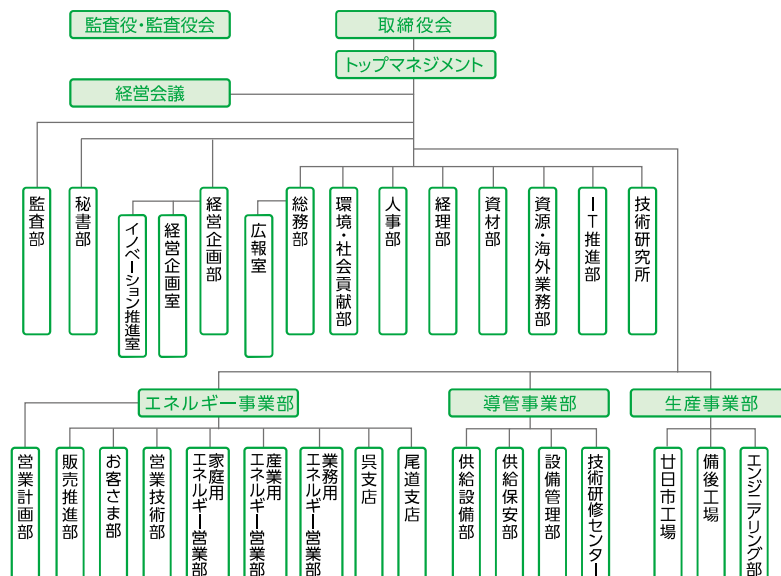
(2021年3月31日現在)



広島ガス本社地区

■ 組織図

(2021年4月1日現在)



◎地域のサービス窓口

■ ガスライフ

〔営業時間〕 9:00 ~ 17:30 (月~土)

1 ガスライフ広島	広島市中区南竹屋町1-30	5 ガスライフ呉	呉市中央1-6-16
2 ガスライフ安芸	広島市安芸区船越南3-1-14	6 ガスライフ尾道	尾道市天満町3-2
3 ガスライフ五日市	広島市佐伯区海老園2-7-43	7 ガスライフ可部	広島市安佐北区亀山9-13-7
4 ガスライフ祇園	広島市安佐南区西原5-13-1	8 ガスライフ西条	東広島市西条御条町4-38

ガスライフ
全店舗共通



0570-550-720

※ナビダイヤルをご利用にならない場合(一部のIP電話・海外からのご利用)などは、**082-240-8891**へおかけください。

〔受付時間〕 月~土曜日(祝日のぞく) 9:00~19:00

〔定休日〕 日曜日・祝日・年末年始(12/31~1/4)

■ ショールーム

最新ガス機器を体感いただき、
温かなガスのある暮らしへ

体感・展示設備(一例)

- 家庭用燃料電池
(エネファーム)
- 床暖房・浴室暖房
比較体感ルーム
- ためして! キッチン
(厨房比較)
- 太陽光発電

● ガストピアセンター



広島市中区南竹屋町1-30
TEL.082-240-8888

● ガストピア安芸



広島市安芸区船越南3丁目1-14
TEL.082-821-1130

● ガストピア五日市



広島市佐伯区海老園2丁目7-43
TEL.082-923-5678

● ガストピア呉



呉市中央1丁目6-16
TEL.0823-22-1262

● ガストピア祇園



広島市安佐南区西原5丁目13-1
TEL.082-850-3506

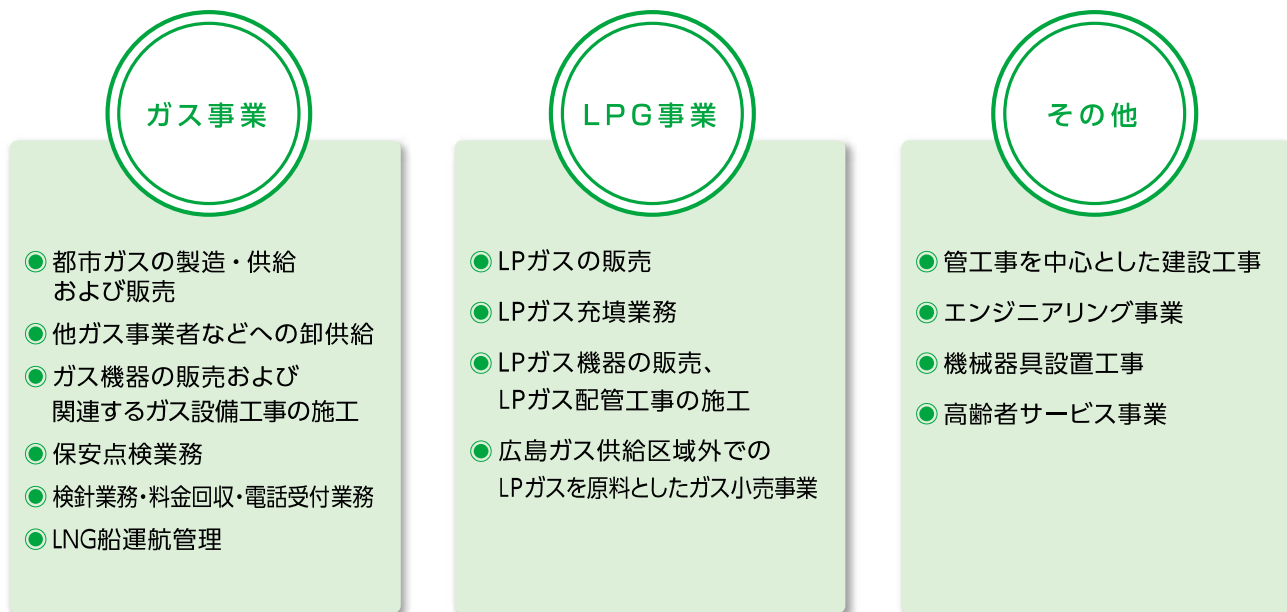
● ガストピアおのみち



尾道市天満町3-2
TEL.0848-22-2161

広島ガスグループの概要

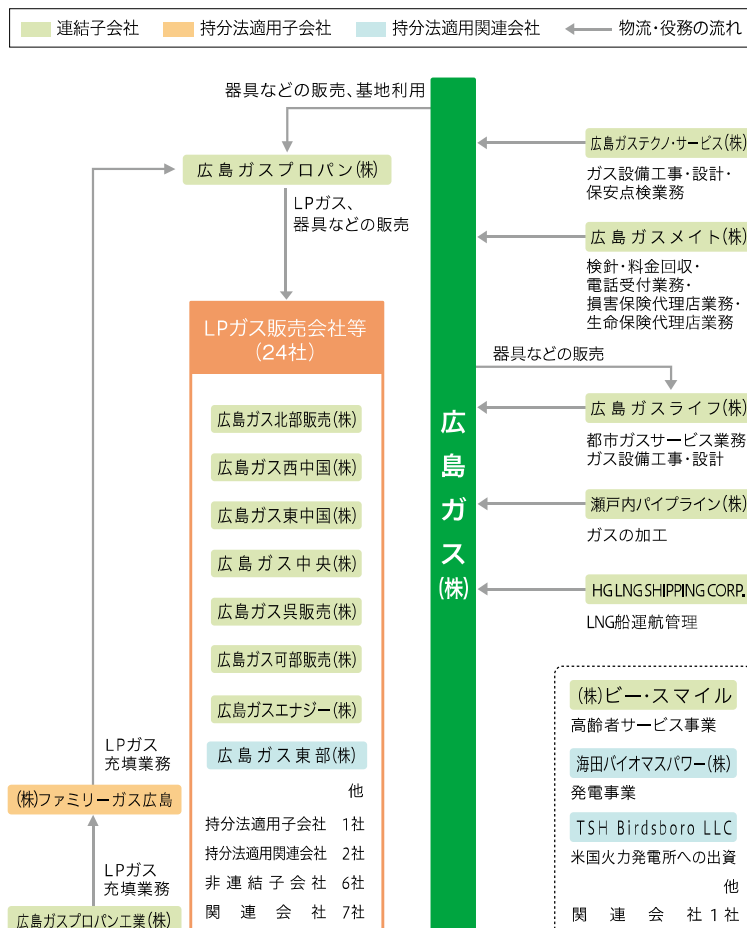
広島ガスグループ(広島ガス、子会社23社および関連会社13社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。



■ 事業系統図

(2021年3月31日現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて37社で構成されています。



■ 主な子会社の概要

(2021年3月31日現在)

広島ガスプロパン株式会社
 資本金／3億円 設立／1969年3月
 売上高／9,608百万円 従業員数／91名

広島ガステクノ・サービス株式会社
 資本金／8千万円 設立／1998年6月
 売上高／9,884百万円 従業員数／204名

広島ガスメイト株式会社
 資本金／2千万円 設立／1975年4月
 売上高／913百万円 従業員数／149名

広島ガスライフ株式会社
 資本金／1,5千万円 設立／2018年6月
 売上高／3,560百万円 従業員数／157名

株式会社ビー・スマイル
 資本金／5千万円 設立／2001年6月
 売上高／181百万円 従業員数／25名

瀬戸内パイプライン株式会社
 資本金／1億5千万円 設立／2003年5月
 売上高／1,104百万円 従業員数／12名

HG LNG SHIPPING CORPORATION
 資本金／1百万円 設立／2005年2月
 売上高／3,493百万円



〒734-8555 広島市南区皆実町2丁目7-1

広島ガス株式会社 総務部 広報室

☎082-252-3000(直通)

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/>



広島ガスCSR報告書 2021 2021年7月発行

《表紙デザイン》



前を向いて走り出している子どもたちは、ESG経営とSDGsの取り組みを一体化して推進する広島ガスの象徴です。
エネルギー・地域社会・環境保全・働きがいと4つの重点項目として、さらに前に進もうとする広島ガスの姿勢をイメージしています。

※本誌掲載の写真は、新型コロナウイルス感染症流行前に撮影したものを含みます。



このレポートの印刷する際の電力300kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。